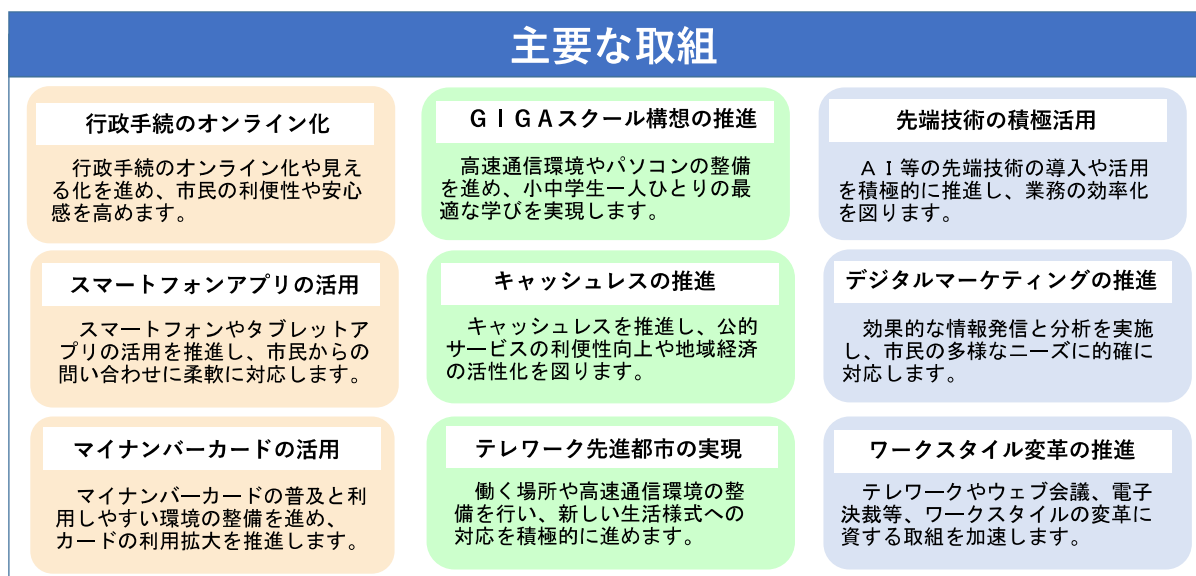
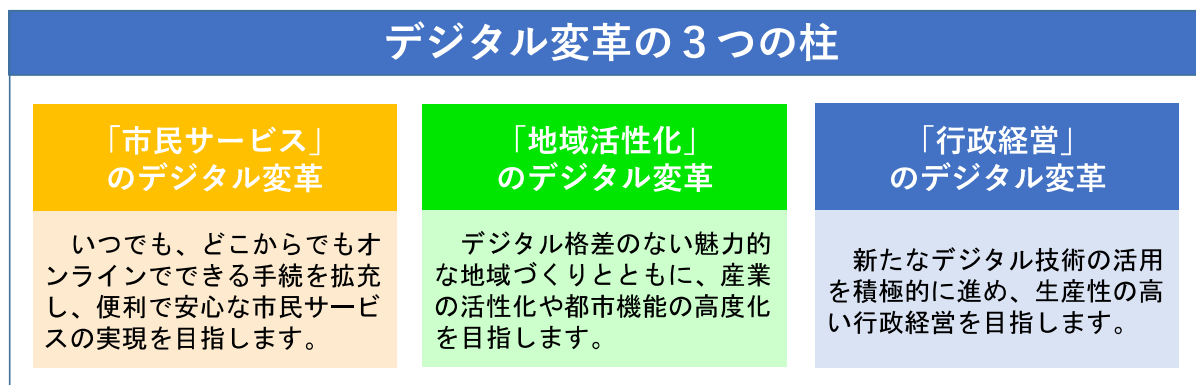


参考資料

1. 富士市デジタル変革宣言

富士市は、急速に進化するデジタル技術を最大限活用し、様々な社会的課題に果敢に取り組むことによって、暮らしの質や価値を高め、安心して豊かなまちづくりを推進していくことを宣言します。

令和2年8月 富士市長 小長井義正



2. 情報化アンケートの調査結果

設問の回答者数の割合(%)については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、同一設問内の割合の合計が 100%にならない場合があります。また、各設問の「その他」の具体的内容を問う設問の掲載を省略しているため、設問番号が連続していない箇所があります。

2.1 市民向けアンケート(1回目)

(1) 調査の目的

本市では、地域情報化を推進するに当たって、地域の情報化の現状と市民のニーズを的確に把握するため、「市民向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 まちづくりセンター利用者、小中学生保護者、
社会教育課主催の青年教養講座参加者
- 調査期間 令和元年 12 月～令和2年1月
- 調査方法 マークシート、又はインターネット上のアンケートフォーム
- 回答方式 番号を選択する形式(マークシート)、一部自由記入あり
- 回答数 1,384 人

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1～問4)
- 市の情報化について(問5～問8)
- 家庭でのインターネット接続環境などについて(問 10～問 14)
- インターネットの利用状況などについて(問 16～問 27)
- 必要と考える情報やサービスなどについて(問 29～問 42)

(4) 調査の結果

● 基本属性

問1 性別

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
男性	291	21.0%
女性	1,043	75.4%
無回答	50	3.6%

問2 年齢

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
10代	15	1.1%
20代	28	2.0%
30代	263	19.0%
40代	600	43.4%
50代	137	9.9%
60代	154	11.1%
70歳以上	183	13.2%
無回答	4	0.3%

問3 居住地域

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
吉原	25	1.8%
伝法	24	1.7%
今泉	108	7.8%
神戸	42	3.0%
広見	35	2.5%
青葉台	62	4.5%
大淵	161	11.6%
富士見台	56	4.0%
原田	29	2.1%
吉永	17	1.2%
吉永北	19	1.4%
須津	26	1.9%
浮島	15	1.1%
元吉原	12	0.9%
富士駅北	175	12.6%
富士北	101	7.3%
富士駅南	96	6.9%
田子浦	26	1.9%
富士南	33	2.4%
岩松	31	2.2%
岩松北	111	8.0%
鷹岡	25	1.8%
丘	29	2.1%
天間	18	1.3%
富士川	16	1.2%
松野	55	4.0%
わからない	7	0.5%
市外	17	1.2%
無回答	13	0.9%

問4 職業

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
農林漁業(家族従事者も含む)	9	0.7%
自営業	95	6.9%
自由業	8	0.6%
経営・管理職	20	1.4%
事務職	208	15.0%
家事専業(主婦など)	332	24.0%
専門・技術職	172	12.4%
作業・技術職	106	7.7%
販売・サービス業	158	11.4%
学生	15	1.1%
無職	153	11.1%
その他	101	7.3%
無回答	7	0.5%

● 市の情報化について

問5 あなたが、今後、充実してほしいと思う富士市の行政情報の提供方法は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
広報ふじ	668	48.3%
富士市公式ウェブサイト	511	36.9%
身近な公共施設の情報コーナー(パンフレット等)	289	20.9%
回覧板	248	17.9%
富士市メールサービス	202	14.6%
富士市のツイッターやフェイスブックなどのSNS	179	12.9%
市役所など窓口での案内	159	11.5%
新聞・広告	82	5.9%
電話問い合わせ	72	5.2%
コミュニティFM「ラジオエフ」	69	5.0%
地域の集会	53	3.8%
おしえてコールふじ	45	3.3%
街頭型端末(デジタルサイネージ)	30	2.2%
ケーブルテレビ「ふじ広報室」	29	2.1%
特になし	162	11.7%
その他	10	0.7%

問7 あなたは富士市の行政情報の提供について満足していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
十分満足している	47	3.4%
まあまあ満足している	813	58.7%
あまり満足していない	296	21.4%
全く満足していない	45	3.3%
わからない	162	11.7%
無回答	21	1.5%

※問(7)で「あまり満足していない」「全く満足していない」と答えた方にお伺いします。

問8 満足していないのは、どのような理由からですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	341	100.0%
情報を探す手段が分からない(分かりづらい)	125	36.7%
情報を探すのに手間がかかる(時間がかかる)	122	35.8%
情報の所在が分からない(分かりづらい)	116	34.0%
提供情報だけでは内容が足りない(詳細情報が知りたい)	89	26.1%
提供情報の内容が魅力的でない(ニーズに合っていない)	79	23.2%
提供情報が古い(最新化されていない)	61	17.9%
提供情報の内容が分かりづらい(用語等の意味もわからない)	46	13.5%
その他	8	2.3%

● 家庭でのインターネット接続環境などについて

問10 あなたが現在利用している情報機器を、すべて選択してください。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
スマートフォン	1,113	80.4%
パソコン	801	57.9%
携帯電話・PHS	362	26.2%
タブレット	353	25.5%
ラジオ(AM、FM)	331	23.9%
FAX	202	14.6%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	189	13.7%
4K・8K対応テレビ	155	11.2%
スマート家電	42	3.0%
その他	11	0.8%

問12 現在は、利用していないが、将来利用したい情報機器はありますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
4K・8K対応テレビ	355	25.7%
スマート家電	244	17.6%
タブレット	201	14.5%
パソコン	164	11.8%
スマートフォン	114	8.2%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	29	2.1%
ラジオ(AM、FM)	27	2.0%
携帯電話・PHS	18	1.3%
FAX	16	1.2%
その他	140	10.1%

問 14 ご家庭ではインターネットにどのような方法で接続していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
光ファイバー	633	45.7%
携帯電話・スマートフォン	474	34.2%
ケーブルテレビ	351	25.4%
モバイルルーター	109	7.9%
ADSL	93	6.7%
接続していない	46	3.3%
わからない	82	5.9%
その他	5	0.4%

● インターネットの利用状況などについて

問 16 インターネットをどの程度利用していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
よく利用している(ほぼ毎日利用している)	952	68.8%
ときどき利用している(必要なときに利用している)	285	20.6%
現在利用していないが、今後は利用したい	28	2.0%
利用していない(今後もしない)	57	4.1%
無回答	62	4.5%

問 17 あなたはどのような目的でインターネットを利用していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,237	100.0%
最新情報やニュースの検索	911	73.6%
電子メールの送受信	759	61.4%
地図、路線、ルート検索	659	53.3%
ショッピングやオークション	567	45.8%
音楽やゲームなど	507	41.0%
SNS、ブログ、ツイッター等	499	40.3%
スマホ決済	250	20.2%
通話アプリ、ボイスチャット	225	18.2%
動画投稿サイト利用	162	13.1%
インターネットバンキング	157	12.7%
メールマガジンの購読	94	7.6%
掲示板やチャット	82	6.6%
行政手続の電子申請、電子申告など	80	6.5%
ホームページの開設	32	2.6%
その他	22	1.8%

問 19 インターネットを利用するとき、コンピュータウイルスや個人情報の取り扱いなど情報の安全性（セキュリティ）に注意していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,237	100.0%
いつも注意している	540	43.7%
ときどき注意している	427	34.5%
あまり注意していない	241	19.5%
まったく気にしていない	25	2.0%
その他	3	0.2%
無回答	1	0.1%

問 21 あなたはどこでインターネットを利用していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,237	100.0%
自宅	1,184	95.7%
職場	521	42.1%
学校	466	37.7%
公共施設	117	9.5%
インターネットカフェ	72	5.8%
あらゆる場所(スマートフォン等)	20	1.6%
飲食店・宿泊施設	9	0.7%
その他	5	0.4%

問 23 あなたが現在インターネットを利用していない理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	85	100.0%
インターネットがよく分からない	32	37.6%
操作方法が難しい	28	32.9%
興味がない、必要性を感じない	26	30.6%
はじめるきっかけがない	14	16.5%
機器の金額や通信料金が高い	14	16.5%
セキュリティ面に不安がある	14	16.5%
通信速度が遅くてつながりにくい	7	8.2%
特に理由はない	13	15.3%
その他	2	2.4%

問 25 あなたが、もしインターネットを利用するならば、どのようなことに利用したいですか。
【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	85	100.0%
最新情報やニュースの検索	153	180.0%
地図、路線、ルート検索	123	144.7%
電子メールの送受信	107	125.9%
音楽やゲームなど	84	98.8%
ショッピングやオークション	78	91.8%
SNS、ブログ、ツイッター等	65	76.5%
スマホ決済	43	50.6%
行政手続の電子申請、電子申告など	34	40.0%
動画投稿サイト利用	17	20.0%
通話アプリ、ボイスチャット	17	20.0%
掲示板やチャット	15	17.6%
インターネットバンキング	14	16.5%
メールマガジンの購読	13	15.3%
ホームページの開設	10	11.8%
その他	0	0.0%

問 27 あなたが、もしインターネットを利用するならば、どこで利用したいですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	85	100.0%
自宅	262	308.2%
あらゆる場所(スマートフォン等)	85	100.0%
職場	41	48.2%
公共施設	30	35.3%
飲食店・宿泊施設	25	29.4%
図書館	18	21.2%
学校	7	8.2%
インターネットカフェ	2	2.4%
わからない・思いつかない	10	11.8%
その他	0	0.0%

● 必要と考える情報やサービスなどについて

問 29 あなたが必要と考える富士市の情報は何か。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
防災・気象・災害時の情報	1,022	73.8%
各種申請・行政手続き情報	792	57.2%
健康・福祉・介護・医療情報	729	52.7%
観光・イベント情報	528	38.2%
スポーツ・文化などの施設情報	510	36.8%
学校教育・生涯学習情報	450	32.5%
出産・子育て・育児情報	423	30.6%
道路・交通情報	400	28.9%
年金に関する情報	377	27.2%
高齢者の暮らしに関する情報	324	23.4%
生活情報・相談情報	274	19.8%
住まいの情報	206	14.9%
環境・自然に関する情報	200	14.5%
相続に関する情報	174	12.6%
企業・雇用情報	157	11.3%
ボランティア情報	130	9.4%
市議会情報	96	6.9%
外国人向けの情報	94	6.8%
引越しに関する情報	66	4.8%
結婚に関する情報	38	2.7%
その他	16	1.2%

問 31 現在、社会全体として情報化が進んでいますが、地域の情報サービスとして、インターネットなどを用いた市役所の情報化を推進していくことについて、あなたはどのように思いますか。

【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
積極的に取り組むのがよい	598	43.2%
慎重に取り組むべきだ	528	38.2%
取り組む必要はない	5	0.4%
わからない	121	8.7%
その他	10	0.7%
無回答	122	8.8%

問 33 今後、富士市が情報化を進めていく上で、どんな市民サービスがあれば便利だと思いますか。
【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
自宅や地区まちづくりセンターなど身近な所で市役所とやり取り(手続き)ができる環境整備	867	62.6%
災害時などにおいて、避難者情報の登録や避難場所の検索を行うサービス	791	57.2%
検診、健康診断又は健康相談の申し込み、結果照会を行うサービス	543	39.2%
コンビニストアでの証明書発行サービス	393	28.4%
医療機関等の施設検索	346	25.0%
公共施設や観光スポットなどでの公衆無線LANサービス	307	22.2%
行政手続きの電子申請	302	21.8%
公共料金(税金含む)などの決済に係るサービス	294	21.2%
スマホを活用した通報システム	290	21.0%
公共交通機関の利用に係るサービス	259	18.7%
IT講習会の充実・継続的な開催など、パソコン操作・情報利活用能力の向上支援	172	12.4%
自治体が保有する公共データを利活用されやすい形で公開するサービス (行政情報のオープンデータ化)	159	11.5%
ホームページ等での相談窓口	144	10.4%
購入希望図書申請等をインターネットで行うサービス	127	9.2%
電子地図情報(GIS)の活用	124	9.0%
インターネットを活用した商業支援サービス	123	8.9%
情報セキュリティなど勉強会の開催	112	8.1%
農作物の計画、生産、販売に係る情報の一元的な管理、収集、提供による農業支援	80	5.8%
特定個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	61	4.4%
問合せに対応するチャットボット	61	4.4%
その他	9	0.7%

問 35 マイナンバーカードを取得していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
いる	487	35.2%
いない	812	58.7%
無回答	85	6.1%

※問 35 で「いない」と回答した人におたずねします。

問 36 マイナンバーカードを取得しない理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	812	100.0%
身分証明書になるものは他にあるから	402	49.5%
取得する必要性が感じられないから	378	46.6%
申請手続きが面倒だから	345	42.5%
個人情報流出が心配だから	240	29.6%
紛失や盗難が心配だから	210	25.9%
不正利用が心配だから	153	18.8%
カードの保有枚数を増やしたくないから	121	14.9%
マイナンバー制度がよくわからないから	120	14.8%
申請方法がわからないから	59	7.3%
特にない	21	2.6%
わからない	3	0.4%
その他	18	2.2%

問 38 マイナンバーカードの機能を利用したサービスで、利用したいサービスは何ですか。
【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
コンビニエンスストアでの証明書発行サービス	417	30.1%
電子申請などのオンラインサービス	292	21.1%
健康保険証としての利用	276	19.9%
マイナポイントの取得	97	7.0%
特定の個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	52	3.8%
特になし	416	30.1%
わからない	171	12.4%
その他	6	0.4%

問 40 情報化が進むことによってどのような良い影響が生じると思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
生活に時間的余裕が増える	553	40.0%
仕事がいよくなる	276	19.9%
地域経済が豊かになる	247	17.8%
人と人との交流が多くなる	210	15.2%
文化水準が上がる	205	14.8%
特に良い影響はない	208	15.0%
その他	25	1.8%

問 42 情報化が進むことによってどのようなことを不安に思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,384	100.0%
個人情報流出し、プライバシーが侵される危険性がある	781	56.4%
インターネットを利用した犯罪が増加する	743	53.7%
パソコンなどを利用できる人とできない人との間に格差が生じる	604	43.6%
情報が氾濫し、取捨選択が困難になる	425	30.7%
情報通信技術の進展のスピードが速く、ついていけない	409	29.6%
コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる	341	24.6%
人と人とのふれあいが少なくなる	323	23.3%
パソコン等の操作が苦手で、情報の入手等ができない	260	18.8%
機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する	237	17.1%
特に不安なことはない	44	3.2%
その他	11	0.8%

2.2 市民向けアンケート(2回目)

(1) 調査の目的

本市では、新型コロナウイルス感染症による情報化の現状とニーズの変化を把握するため、2回目の「市民向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 まちづくりセンター利用者、小中学生保護者、
社会教育課主催の青年教養講座参加者
- 調査期間 令和2年12月～令和3年1月
- 調査方法 マークシート、又はインターネット上のアンケートフォーム
- 回答方式 番号を選択する形式(マークシート)、一部自由記入あり
- 回答数 1,210名

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1～問4)
- 新型コロナウイルス対応について(問5～問6)
- インターネットの利用状況などについて(問8～問9)
- 必要と考える情報やサービスなどについて(問11～問18)

(4) 調査の結果

● 基本属性

問1 性別

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
男性	317	26.2%
女性	868	71.7%
無回答	25	2.1%

問2 年齢

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
10代	34	2.8%
20代	26	2.1%
30代	182	15.0%
40代	493	40.7%
50代	136	11.2%
60代	130	10.7%
70歳以上	205	16.9%
無回答	4	0.3%

問3 居住地域

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
吉原	32	2.6%
伝法	29	2.4%
今泉	120	9.9%
神戸	45	3.7%
広見	35	2.9%
青葉台	56	4.6%
大淵	116	9.6%
富士見台	55	4.5%
原田	14	1.2%
吉永	11	0.9%
吉永北	34	2.8%
須津	28	2.3%
浮島	9	0.7%
元吉原	17	1.4%
富士駅北	164	13.6%
富士北	83	6.9%
富士駅南	72	6.0%
田子浦	26	2.1%
富士南	24	2.0%
岩松	23	1.9%
岩松北	73	6.0%
鷹岡	18	1.5%
丘	18	1.5%
天間	13	1.1%
富士川	8	0.7%
松野	67	5.5%
わからない	6	0.5%
市外	10	0.8%
無回答	4	0.3%

問4 職業

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
農林漁業(家族従事者も含む)	11	0.9%
自営業	55	4.5%
自由業	11	0.9%
経営・管理職	29	2.4%
事務職	182	15.0%
家事専業(主婦など)	235	19.4%
専門・技術職	132	10.9%
作業・技術職	89	7.4%
販売・サービス業	143	11.8%
学生	34	2.8%
無職	155	12.8%
その他	126	10.4%
無回答	8	0.7%

● 新型コロナウイルス対応について

問5 あなたは新型コロナウイルスに関する富士市の行政情報の提供について満足していますか。

【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
十分満足している	36	3.0%
まあまあ満足している	318	26.3%
あまり満足していない	558	46.1%
全く満足していない	215	17.8%
わからない	80	6.6%
無回答	3	0.2%

※問5で「あまり満足していない」「全く満足していない」と答えた方にお伺いします。
問6 満足していないのは、どのような理由からですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	773	100.0%
提供情報だけでは内容が足りない(詳細情報が知りたい)	592	76.6%
情報の所在が分からない(分かりづらい)	311	40.2%
情報を探すのに手間がかかる(時間がかかる)	132	17.1%
情報を探す手段が分からない(分かりづらい)	112	14.5%
提供情報が古い(最新化されていない)	103	13.3%
提供情報の内容が魅力的でない(ニーズに合っていない)	86	11.1%
提供情報の内容が分かりづらい(用語等の意味もわからない)	82	10.6%
その他	32	4.1%

● インターネットの利用状況などについて

問8 インターネットをどの程度利用していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
よく利用している(ほぼ毎日利用している)	824	68.1%
ときどき利用している(必要なときに利用している)	251	20.7%
現在利用していないが、今後は利用したい	27	2.2%
利用していない(今後も利用しない)	87	7.2%
無回答	21	1.7%

問9 あなたはどこでインターネットを利用していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,075	100.0%
自宅	995	92.6%
あらゆる場所(スマートフォン等)	400	37.2%
職場	377	35.1%
飲食店・宿泊施設	36	3.3%
公共施設	24	2.2%
学校	13	1.2%
インターネットカフェ	6	0.6%
サテライトオフィス	0	0.0%
コワーキングスペース	0	0.0%
その他	8	0.7%

● 必要と考える情報やサービスなどについて

問 11 今後、富士市が情報化を進めていく上で、どんな市民サービスがあれば便利だと思いますか。

【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
自宅や地区まちづくりセンターなど身近な所で市役所とやり取り(手続き)ができる環境整備	568	46.9%
オンライン授業など学校が休校となったときに子供が安心して教育を受けられる環境づくり	497	41.1%
災害時などにおいて、避難者情報の登録や避難場所の検索を行うサービス	493	40.7%
検診、健康診断又は健康相談の申し込み、結果照会を行うサービス	341	28.2%
コンビニエンスストアでの証明書発行サービス	274	22.6%
公共施設や観光スポットなどでの公衆無線LANサービス	269	22.2%
行政手続きの電子申請	252	20.8%
スマホを活用した通報システム	250	20.7%
公共料金(税金含む)などの決済に係るサービス	204	16.9%
自治体が保有する公共データを利活用されやすい形で公開するサービス (行政情報のオープンデータ化)	195	16.1%
医療機関等の施設検索	190	15.7%
公共交通機関の利用に係るサービス	175	14.5%
IT講習会の充実・継続的な開催など、パソコン操作・情報利活用能力の向上支援	133	11.0%
インターネットを活用した商業支援サービス	117	9.7%
次世代高速通信(5G)の活用	106	8.8%
ホームページ等での相談窓口	90	7.4%
購入希望図書申請等をインターネットで行うサービス	77	6.4%
情報セキュリティなど勉強会の開催	69	5.7%
農作物の計画、生産、販売に係る情報の一元的な管理、収集、提供による農業支援	65	5.4%
電子地図情報(GIS)の活用	62	5.1%
eスポーツ(電子機器を使う娯楽や競技、スポーツなど)	60	5.0%
問合せに対応するチャットボット	59	4.9%
特定個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	49	4.0%
その他	21	1.7%

問 13 マイナンバーカードを取得していますか。

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
取得している	470	38.8%
取得していないが、今後取得予定(取得したい)	301	24.9%
取得していないし、今後も取得する予定はない	409	33.8%
無回答	30	2.5%

※問 13 で「取得していないが、今後取得予定(取得したい)」と回答した人におたずねします。

問 14 マイナンバーカードを取得する理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	301	100.0%
マイナポイントの申し込みをしたいから	118	39.2%
まわりで取得している人が増えてきたから	74	24.6%
マイナンバーカードの便利さが分かってきたから	55	18.3%
コロナ対策としてマイナンバーカードの重要性が増したから	51	16.9%
身近な人から取得するように促されたから	35	11.6%
その他	38	12.6%

※問 13 で「取得していないし、今後も取得する予定はない」と回答した人におたずねします。

問 16 マイナンバーカードを取得しない理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	409	100.0%
取得する必要性を感じられないから	205	50.1%
個人情報の流出が心配だから	179	43.8%
身分証明書になるものは他にあるから	175	42.8%
申請手続きが面倒だから	143	35.0%
不正利用が心配だから	125	30.6%
紛失や盗難が心配だから	123	30.1%
カードの保有枚数を増やしたくないから	77	18.8%
マイナンバー制度がよくわからないから	61	14.9%
申請方法がわからないから	37	9.0%
特にない	22	5.4%
わからない	45	11.0%
その他	10	2.4%

問 18 マイナンバーカードの機能を利用したサービスで、利用したいサービスは何ですか。

【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	1,210	100.0%
コンビニエンスストアでの証明書発行サービス	397	32.8%
電子申請などのオンラインサービス	371	30.7%
健康保険証としての利用	320	26.4%
マイナポイントの取得	318	26.3%
運転免許証としての利用	245	20.2%
特定の個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	61	5.0%
特にない	250	20.7%
わからない	114	9.4%
その他	16	1.3%

2.3 中学生向けアンケート(1回目)

(1) 調査の目的

本市では、地域情報化を推進するに当たって、情報化に関する中学生の現状とニーズを的確に把握するため、「中学生向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 市立中学校
- 調査期間 令和元年12月～令和2年1月
- 調査方法 各クラスHRにて記入
- 回答方式 番号を選択する形式(マークシート)、一部自由記入あり
- 回答数 528人

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1)
- 情報機器の利用状況などについて(問2～問4)
- インターネットの利用状況などについて(問6～問12)
- 市の行うイベントなどの情報の入手方法(問13～問15)
- 情報通信技術(ICT)を活用した学校の情報化について(問17)
- 富士市の公式ウェブサイト(ホームページ)について(問19～問20)
- 情報化について(問22～問25)
- 将来なりたい職業(問27)

(4) 調査の結果

● 基本属性

問1 性別

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
男性	263	49.8%
女性	242	45.8%
無回答	23	4.4%

● 情報機器の利用状況などについて

問2 あなたが利用している情報機器をすべて選択してください。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
スマートフォン	375	71.0%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	355	67.2%
タブレット	270	51.1%
パソコン	258	48.9%
4K・8K対応テレビ	173	32.8%
携帯電話	80	15.2%
ラジオ(AM, FM)	77	14.6%
FAX	55	10.4%
スマート家電	42	8.0%
その他	7	1.3%

問4 あなたが将来利用したい情報機器はありますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
スマートフォン	431	81.6%
パソコン	365	69.1%
4K・8K対応テレビ	241	45.6%
タブレット	237	44.9%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	213	40.3%
スマート家電	149	28.2%
携帯電話	50	9.5%
ラジオ(AM, FM)	34	6.4%
FAX	30	5.7%
その他	8	1.5%

● インターネットの利用状況などについて

問6 あなた自身、インターネットをどのようなことに利用していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
音楽やゲームなど	442	83.7%
最新情報やニュースの検索	323	61.2%
動画投稿サイト利用	258	48.9%
SNS、ブログ、ツイッター等	254	48.1%
電子メールの送受信	224	42.4%
地図、路線、ルート検索	218	41.3%
通話アプリ・ボイスチャット	153	29.0%
ショッピングやオークション	87	16.5%
掲示板やチャット	84	15.9%
メールマガジンの購読	31	5.9%
スマホ決済	31	5.9%
ホームページの開設	10	1.9%
その他	4	0.8%

問 8 公共施設でインターネットを利用したことがありますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
学校	323	61.2%
図書館	125	23.7%
利用したことはない	131	24.8%
その他の公共施設	38	7.2%

※問 8 で「利用したことがある」と答えた方（利用したことはない以外を選択した方）に質問します。

問 10_1 利用してどうでしたか。それぞれの施設についてあてはまるものにマークしてください。

(学校)

	(人)	(%)
全体	486	100.0%
非常に満足している	59	12.1%
満足している	218	44.9%
不満がある	51	10.5%
その他	4	0.8%
無回答	154	31.7%

問 10_2 利用してどうでしたか。それぞれの施設についてあてはまるものにマークしてください。

(図書館)

	(人)	(%)
全体	486	100.0%
非常に満足している	38	7.8%
満足している	101	20.8%
不満がある	18	3.7%
その他	3	0.6%
無回答	326	67.1%

問 10_3 利用してどうでしたか。それぞれの施設についてあてはまるものにマークしてください。

(その他の公共施設)

	(人)	(%)
全体	486	100.0%
非常に満足している	16	3.3%
満足している	44	9.1%
不満がある	12	2.5%
その他	3	0.6%
無回答	411	84.6%

問 12 インターネットを利用するとき、コンピュータウイルスや個人情報の取り扱いなど情報の安全性（セキュリティ）に注意していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
いつも注意している	251	47.5%
ときどき注意している	168	31.8%
あまり注意していない	58	11.0%
まったく気にしていない	14	2.7%
わからない	29	5.5%
無回答	8	1.5%

● 市の行うイベントなどの情報の入手方法

問 13 現在どのように情報を入手していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
学校で配布されるチラシなど	338	64.0%
回覧板	238	45.1%
新聞・広告	134	25.4%
広報ふじ	123	23.3%
身近な公共施設の情報コーナー(パンフレット等)	36	6.8%
富士市メールサービス(火災・事件など)	33	6.3%
地域の集会	27	5.1%
富士市のツイッターやフェイスブックなどのSNS	22	4.2%
富士市公式ウェブサイト	20	3.8%
コミュニティFM「ラジオエフ」	20	3.8%
ケーブルテレビ「ふじ広報室」	6	1.1%
市役所など窓口での案内	2	0.4%
電話問い合わせ	1	0.2%
おしえてコールふじ	0	0.0%
街頭型端末(デジタルサイネージ)	0	0.0%
入手していない	68	12.9%
その他	13	2.5%

問 15 今後、市として充実してほしいと思う情報の提供方法はどれですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
広報ふじ	81	15.3%
富士市メールサービス(火災・事件など)	73	13.8%
回覧板	69	13.1%
富士市のツイッターやフェイスブックなどのSNS	64	12.1%
富士市公式ウェブサイト	53	10.0%
新聞・広告	52	9.8%
身近な公共施設の情報コーナー(パンフレット等)	19	3.6%
地域の集会	19	3.6%
コミュニティFM「ラジオエフ」	12	2.3%
街頭型端末(デジタルサイネージ)	11	2.1%
ケーブルテレビ「ふじ広報室」	7	1.3%
おしえてコールふじ	5	0.9%
電話問い合わせ	4	0.8%
市役所など窓口での案内	3	0.6%
入手していない	283	53.6%
その他	1	0.2%

● 情報通信技術（ICT）を活用した学校の情報化について

問 17 今後、市として充実してほしいと思う情報の提供方法はどれですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
パソコンを使い、自分のペースに合わせて予習や復習のできる学習	338	64.0%
タブレットを使った学習	280	53.0%
動画映像を使った、化学、自然、歴史などの学習	245	46.4%
プログラミング学習	166	31.4%
デジタル教科書による学習	134	25.4%
携帯電話やスマートフォンでの電子地図、デジタルカメラなどを使った身近な地域の調べ学習	130	24.6%
離れた学校の生徒との交流学習	127	24.1%
学校図書館にある本の検索	95	18.0%
自分が見つけた作品や自分で調査した学習成果の情報発信	45	8.5%
特にない	71	13.4%
その他	3	0.6%

● 富士市の公式ウェブサイト（ホームページ）について

問 19 富士市の公式ウェブサイトを知っていますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
見たことがある	100	18.9%
知っているが、見たことはない	164	31.1%
知らない	253	47.9%
無回答	11	2.1%

問 20 富士市の公式ウェブサイトどんな情報があれば見たいと思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
防災・気象・災害時の情報	226	42.8%
スポーツ・文化などの施設情報	203	38.4%
観光・イベント情報	197	37.3%
ショッピング・グルメ情報	188	35.6%
道路・交通情報	90	17.0%
学校教育・生涯学習情報	61	11.6%
健康・福祉・介護・医療情報	50	9.5%
外国人向け情報	37	7.0%
生活情報・相談情報	32	6.1%
ボランティア情報	26	4.9%
企業・雇用情報	23	4.4%
各種申請・行政手続き情報	16	3.0%
市議会情報	14	2.7%
その他	9	1.7%

● 情報化について

問 22 マイナンバーカードを取得していますか。

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
いる	49	9.3%
いない	79	15.0%
わからない	400	75.8%

問 23 情報化が進むことによってどのような良い影響が生じるとお考えですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
勉強がしやすくなる	196	37.1%
生活に時間的な余裕が増える	167	31.6%
人と人との交流が多くなる	135	25.6%
地域経済が豊かになる	125	23.7%
文化水準が上がる	48	9.1%
特に良い影響はない	19	3.6%
わからない	152	28.8%
その他	3	0.6%

問 25 情報化が進むことによってどのようなことを不安に感じますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
インターネットを利用した犯罪が増加する	302	57.2%
個人情報が出し、プライバシーが侵される危険性がある	233	44.1%
LINE等を使ったいじめが増える	220	41.7%
パソコンなどを利用できる人とできない人との間に格差が生じる	149	28.2%
人と人とのふれあいが少なくなる	129	24.4%
コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる	95	18.0%
情報通信技術の進展のスピードが速く、ついていけない	59	11.2%
パソコン等の操作が苦手で、情報の入手等ができない	59	11.2%
特に心配なことはない	35	6.6%
わからない	89	16.9%
その他	4	0.8%

● 将来なりたい職業

問 27 あなたが将来なりたい職業は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	528	100.0%
公務員	72	13.6%
会社員	50	9.5%
保育士・幼稚園教諭	49	9.3%
看護師	48	9.1%
教師・教員	46	8.7%
プロスポーツ選手	45	8.5%
ショップ店員	39	7.4%
漫画家・イラストレーター・アニメーター	35	6.6%
歌手・俳優・声優などの芸能人	34	6.4%
美容師	34	6.4%
YouTuberなどの動画投稿者	34	6.4%
ITエンジニア・プログラマー	33	6.3%
動物園や水族館の飼育員	33	6.3%
ゲームクリエイター	32	6.1%
デザイナー	26	4.9%
医師	25	4.7%
プロスポーツプレイヤー	22	4.2%
学者・研究者	18	3.4%
会社経営者・起業家	17	3.2%
ものづくりエンジニア	12	2.3%
作家・ライター	12	2.3%
マスコミ関係	6	1.1%
特になし	58	11.0%
わからない	83	15.7%
その他	50	9.5%

2.4 中学生向けアンケート(2回目)

(1) 調査の目的

本市では、新型コロナウイルス感染症による情報化の現状とニーズの変化を把握するため、2回目の「中学生向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 市立中学生
- 調査期間 令和2年12月～令和3年1月
- 調査方法 各クラスHRにて記入
- 回答方式 番号を選択する形式(マークシート)、一部自由記入あり
- 回答数 555人

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1)
- 情報通信技術(ICT)を活用した学校の情報化について(問2)
- マイナンバーカードの取得について(問4)

(4) 調査の結果

● 基本属性

問1 性別

	(人)	(%)
全体	555	100.0%
男性	247	44.5%
女性	303	54.6%
無回答	5	0.9%

● 情報通信技術（ICT）を活用した学校の情報化について

問2 インターネットなどの情報通信技術（ICT）を活用して、どのような学習をしたいですか。

【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	555	100.0%
パソコンを使い、自分のペースに合わせて予習や復習のできる学習	379	68.3%
タブレットを使った学習	343	61.8%
動画映像を使った、化学、自然、歴史などの学習	251	45.2%
プログラミング学習	239	43.1%
自宅での遠隔授業(オンライン授業)	239	43.1%
デジタル教科書による学習	204	36.8%
携帯電話やスマートフォンでの電子地図、デジタルカメラなどを使った身近な地域の調べ学習	130	23.4%
離れた学校の生徒との交流学習	122	22.0%
学校図書館にある本の検索	101	18.2%
自分がつくった作品や自分で調査した学習成果の情報発信	61	11.0%
特にない	29	5.2%
その他	8	1.4%

● マイナンバーカードの取得について

問4 マイナンバーカードを持っていますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	555	100.0%
いる	69	12.4%
持っていないが、今後持ちたい(取得したい)	31	5.6%
持っていないし、今後も持つ予定はない	40	7.2%
わからない	415	74.8%

2.5 高校生向けアンケート(1回目)

(1) 調査の目的

本市では、地域情報化を推進するに当たって、情報化に関する高校生の現状とニーズを的確に把握するため、「高校生向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 富士市立高校生
- 調査期間 令和元年12月～令和2年1月頃
- 調査方法 各クラスHRにて記入
- 回答方式 番号を選択する形式(マークシート)、一部自由記入あり
- 回答数 454人

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1～問3)
- 情報機器の利用状況などについて(問4～問10)
- インターネットの利用状況などについて(問12～問18)
- 市の行うイベントなどの情報の入手方法(問20～問22)
- 情報通信技術(ICT)を活用した学校の情報化について(問24)
- 富士市の公式ウェブサイト(ホームページ)について(問26～問27)
- 情報化について(問29～問36)

(4) 調査の結果

● 基本属性

問1 性別

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
男性	204	44.9%
女性	248	54.6%
無回答	2	0.4%

問2 学年

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
1年生	225	49.6%
2年生	224	49.3%
無回答	5	1.1%

問3 住まい

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
富士市内	352	77.5%
市外	94	20.7%
無回答	8	1.8%

● 情報機器の利用状況などについて

問4 あなたの家で利用している情報機器をすべて選択してください。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
スマートフォン	444	97.8%
パソコン	299	65.9%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	265	58.4%
4K・8K対応テレビ	216	47.6%
タブレット	172	37.9%
FAX	123	27.1%
携帯電話・PHS	88	19.4%
ラジオ(AM, FM)	64	14.1%
スマート家電	44	9.7%
その他	4	0.9%

問6 あなたの家で、将来利用したい情報機器はありますか。【複数選択可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
スマートフォン	251	55.3%
パソコン	247	54.4%
4K・8K対応テレビ	209	46.0%
タブレット	161	35.5%
スマート家電	122	26.9%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	95	20.9%
FAX	38	8.4%
ラジオ(AM, FM)	21	4.6%
携帯電話・PHS	19	4.2%
その他	5	1.1%

問8 あなたが利用している情報機器をすべて選択してください。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
スマートフォン	443	97.6%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	168	37.0%
パソコン	155	34.1%
4K・8K対応テレビ	152	33.5%
タブレット	118	26.0%
携帯電話・PHS	22	4.8%
スマート家電	22	4.8%
ラジオ(AM, FM)	12	2.6%
FAX	10	2.2%
その他	3	0.7%

問 10 あなたが将来利用したい情報機器はありますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
スマートフォン	282	62.1%
パソコン	272	59.9%
4K・8K対応テレビ	199	43.8%
タブレット	165	36.3%
インターネット接続ができる家庭用ゲーム機	101	22.2%
スマート家電	97	21.4%
FAX	23	5.1%
携帯電話・PHS	15	3.3%
ラジオ(AM, FM)	12	2.6%
その他	4	0.9%

● インターネットの利用状況などについて

問 12 あなた自身、インターネットをどのようなことに利用していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
音楽やゲームなど	361	79.5%
SNS、ブログ、ツイッター等	345	76.0%
最新情報やニュースの検索	243	53.5%
地図、路線、ルート検索	214	47.1%
動画投稿サイト利用	178	39.2%
電子メールの送受信	156	34.4%
通話アプリ・ボイスチャット	149	32.8%
ショッピングやオークション	136	30.0%
掲示板やチャット	78	17.2%
スマホ決済	38	8.4%
メールマガジンの購読	30	6.6%
ホームページの開設	2	0.4%
その他	5	1.1%

問 14 公共施設でインターネットを利用したことがありますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
学校	291	64.1%
図書館	104	22.9%
その他の公共施設	24	5.3%
利用したことはない	114	25.1%

※問 14 で「利用したことがある」と答えた方（利用したことはない以外を選択した方）に質問します。
 問 16_1 利用してどうでしたか。それぞれの施設についてあてはまるものにマークしてください。

（学校）

	（人）	（％）
全体	419	100.0%
非常に満足している	52	12.4%
満足している	212	50.6%
不満がある	37	8.8%
その他	5	1.2%
無回答	113	27.0%

問 16_2 利用してどうでしたか。それぞれの施設についてあてはまるものにマークしてください。

（図書館）

	（人）	（％）
全体	419	100.0%
非常に満足している	15	3.6%
満足している	93	22.2%
不満がある	16	3.8%
その他	10	2.4%
無回答	285	68.0%

問 16_3 利用してどうでしたか。それぞれの施設についてあてはまるものにマークしてください。

（その他の公共施設）

	（人）	（％）
全体	419	100.0%
非常に満足している	9	2.1%
満足している	51	12.2%
不満がある	8	1.9%
その他	7	1.7%
無回答	344	82.1%

問 18 インターネットを利用するとき、コンピュータウイルスや個人情報の取り扱いなど情報の安全性（セキュリティ）に注意していますか。【1つだけ選択】

	（人）	（％）
全体	454	100.0%
いつも注意している	185	40.7%
ときどき注意している	160	35.2%
あまり注意していない	77	17.0%
まったく気にしていない	24	5.3%
無回答	8	1.8%

● 市の行うイベントなどの情報の入手方法

問 20 現在どのように情報を入手していますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
回覧板	159	35.0%
広報ふじ	109	24.0%
新聞・広告	91	20.0%
富士市のツイッターやフェイスブックなどのSNS	43	9.5%
富士市メールサービス(火災・事件など)	29	6.4%
身近な公共施設の情報コーナー(パンフレット等)	25	5.5%
富士市公式ウェブサイト	20	4.4%
コミュニティFM「ラジオエフ」	10	2.2%
地域の集会	7	1.5%
市役所など窓口での案内	6	1.3%
おしえてコールふじ	5	1.1%
ケーブルテレビ「ふじ広報室」	5	1.1%
街頭型端末(デジタルサイネージ)	3	0.7%
電話問い合わせ	2	0.4%
入手していない	154	33.9%
その他	15	3.3%

問 22 今後、市として充実してほしいと思う情報の提供方法はどれですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
富士市のツイッターやフェイスブックなどのSNS	90	19.8%
広報ふじ	55	12.1%
富士市公式ウェブサイト	39	8.6%
回覧板	39	8.6%
富士市メールサービス(火災・事件など)	32	7.0%
新聞・広告	28	6.2%
コミュニティFM「ラジオエフ」	9	2.0%
身近な公共施設の情報コーナー(パンフレット等)	9	2.0%
おしえてコールふじ	6	1.3%
ケーブルテレビ「ふじ広報室」	6	1.3%
街頭型端末(デジタルサイネージ)	6	1.3%
地域の集会	5	1.1%
市役所など窓口での案内	2	0.4%
電話問い合わせ	0	0.0%
入手していない	238	52.4%
その他	2	0.4%

● 情報通信技術（ICT）を活用した学校の情報化について

問 24 インターネットなどの情報通信技術（ICT）を活用して、学校でどんなことができれば良いと思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
パソコンを使い、自分のペースに合わせて予習や復習のできる学習	207	45.6%
タブレットを使った学習	194	42.7%
動画映像を使った、化学、自然、歴史などの学習	139	30.6%
デジタル教科書による学習	104	22.9%
携帯電話やスマートフォンでの電子地図、デジタルカメラなどを使った身近な地域の調べ学習	100	22.0%
離れた学校の生徒との交流学習	90	19.8%
プログラミング学習	51	11.2%
学校図書館にある本の検索	45	9.9%
自分が見つけた作品や自分で調査した学習成果の情報発信	20	4.4%
特になし	74	16.3%
その他	3	0.7%

● 富士市の公式ウェブサイト（ホームページ）について

問 26 富士市の公式ウェブサイトを知っていますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
見たことがある	89	19.6%
知っているが、見たことはない	127	28.0%
知らない	217	47.8%
無回答	21	4.6%

問 27 富士市の公式ウェブサイトにはどんな情報があれば見たいと思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
スポーツ・文化などの施設情報	181	39.9%
ショッピング・グルメ情報	167	36.8%
観光・イベント情報	138	30.4%
防災・気象・災害時の情報	126	27.8%
道路・交通情報	45	9.9%
健康・福祉・介護・医療情報	38	8.4%
子育て・育児情報	28	6.2%
企業・雇用情報	23	5.1%
ボランティア情報	22	4.8%
学校教育・生涯学習情報	21	4.6%
各種申請・行政手続き情報	15	3.3%
外国人向け情報	15	3.3%
生活情報・相談情報	12	2.6%
引越しに関する情報	9	2.0%
年金に関する情報	7	1.5%
高齢者の暮らしに関する情報	5	1.1%
市議会情報	5	1.1%
相続に関する情報	2	0.4%
その他	9	2.0%

● 情報化について

問 29 マイナンバーカードを取得していますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
いる	124	27.3%
いない	318	70.0%
わからない	12	2.6%

※問 29 で「いない」と回答した人におたずねします。

問 30 マイナンバーカードを取得しない理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	318	100.0%
マイナンバー制度がよくわからないから	43	13.5%
申請方法がわからないから	20	6.3%
申請手続きが面倒だから	14	4.4%
取得する必要性を感じられないから	12	3.8%
身分証明書になるものは他にあるから	10	3.1%
個人情報の流出が心配だから	5	1.6%
紛失や盗難が心配だから	4	1.3%
不正利用が心配だから	3	0.9%
カードの保有枚数を増やしたくないから	2	0.6%
特にない	98	30.8%
わからない	139	43.7%
その他	7	2.2%

問 32 マイナンバーカードの機能を利用したサービスで、利用したいサービスは何ですか。

【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
健康保険証としての利用	40	8.8%
電子申請などのオンラインサービス	35	7.7%
コンビニエンスストアでの証明書発行サービス	29	6.4%
マイナポイントの取得	23	5.1%
特定の個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	12	2.6%
特にない	131	28.9%
わからない	217	47.8%
その他	1	0.2%

問 34 情報化が進むことによってどのような良い影響が生じると思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
人と人との交流が多くなる	152	33.5%
地域経済が豊かになる	131	28.9%
勉強がしやすくなる	119	26.2%
生活に時間的な余裕が増える	94	20.7%
文化水準が上がる	38	8.4%
特に良い影響はない	58	12.8%
その他	2	0.4%

問 36 情報化が進むことによってどのようなことを不安に思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	454	100.0%
インターネットを利用した犯罪が増加する	245	54.0%
個人情報流出し、プライバシーが侵される危険性がある	213	46.9%
LINE等を使ったいじめが増える	114	25.1%
パソコンなどを利用できる人とできない人との間に格差が生じる	107	23.6%
人と人とのふれあいが少なくなる	83	18.3%
コンピューターの事故などにより、社会的混乱が生じる	57	12.6%
パソコン等の操作が苦手で、情報の入手等ができない	51	11.2%
情報通信技術の進展のスピードが速く、ついて行けない	46	10.1%
特に心配なことはない	58	12.8%
その他	5	1.1%

2.6 高校生向けアンケート(2回目)

(1) 調査の目的

本市では、新型コロナウイルス感染症による情報化の現状とニーズの変化を把握するため、2回目の「高校生向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 富士市立高校生
- 調査期間 令和2年12月～令和3年1月
- 調査方法 各クラスHRにて記入
- 回答方式 番号を選択する形式(マークシート)、一部自由記入あり
- 回答数 446人

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1～問3)
- 情報通信技術(ICT)を活用した学校の情報化について(問4)
- マイナンバーカードについて(問6～問11)

(4) 調査の結果

● 基本属性

問1 性別

	(人)	(%)
全体	446	100.0%
男性	209	46.9%
女性	236	52.9%
無回答	1	0.2%

問2 学年

	(人)	(%)
全体	446	100.0%
1年生	225	50.4%
2年生	221	49.6%

問3 住まい

	(人)	(%)
全体	446	100.0%
富士市内	342	76.7%
市外	103	23.1%
無回答	1	0.2%

● 情報通信技術（ICT）を活用した学校の情報化について

問4 情報化が進むことによってどのようなことを不安に思いますか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	446	100.0%
パソコンを使い、自分のペースに合わせて予習や復習のできる学習	235	52.7%
タブレットを使った学習	211	47.3%
自宅での遠隔授業(オンライン授業)	172	38.6%
動画映像を使った、化学、自然、歴史などの学習	137	30.7%
デジタル教科書による学習	100	22.4%
携帯電話やスマートフォンでの電子地図、デジタルカメラなどを使った身近な地域の調べ学習	83	18.6%
離れた学校の生徒との交流学習	82	18.4%
プログラミング学習	58	13.0%
学校図書館にある本の検索	36	8.1%
自分が見つけた作品や自分で調査した学習成果の情報発信	18	4.0%
特にない	44	9.9%
その他	0	0.0%

● マイナンバーカードについて

問6 マイナンバーカードを持っていますか。【1つだけ選択】

	(人)	(%)
全体	446	100.0%
いる	81	18.2%
持っていないが、今後持ちたい(取得したい)	48	10.8%
持っていないし、今後も持つ予定はない	47	10.5%
わからない	270	60.5%

※問6で「持っていないが、今後持ちたい(取得したい)」と回答した人におたずねします。

問7 マイナンバーカードを取得する理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	48	100.0%
マイナンバーカードの便利さが分かってきたから	20	41.7%
まわりで持っている人が増えてきたから	13	27.1%
コロナ対策としてマイナンバーカードの重要性が増したから	12	25.0%
マイナポイントの申し込みをしたいから	7	14.6%
身近な人から持つように促されたから	7	14.6%
その他	1	2.1%

※問6で「持っていないし、今後も持つ予定はない」と回答した人におたずねします。

問9 マイナンバーカードを持たない理由は何ですか。【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	47	100.0%
マイナンバー制度がよくわからないから	22	46.8%
持つ必要性を感じられないから	18	38.3%
申請方法がわからないから	9	19.1%
申請手続きが面倒だから	9	19.1%
紛失や盗難が心配だから	8	17.0%
個人情報の流出が心配だから	6	12.8%
身分証明書になるものは他にあるから	4	8.5%
不正利用が心配だから	2	4.3%
カードの保有枚数を増やしたくないから	2	4.3%
特になし	8	17.0%
わからない	3	6.4%
その他	1	2.1%

問11 マイナンバーカードの機能を利用したサービスで、利用したいサービスは何ですか。

【複数回答可】

	(人)	(%)
全体	446	100.0%
マイナポイントの取得	79	17.7%
電子申請などのオンラインサービス	67	15.0%
健康保険証としての利用	64	14.3%
運転免許証としての利用	52	11.7%
コンビニエンスストアでの証明書発行サービス	46	10.3%
特定の個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	10	2.2%
特になし	101	22.6%
わからない	162	36.3%
その他	1	0.2%

2.7 職員向けアンケート

(1) 調査の目的

本市では、地域情報化を推進するに当たって、市役所の職員の情報化に関するニーズを把握するために、「職員向けアンケート」を実施しました。

(2) 調査の概要

- 調査対象 全職員
- 調査期間 令和元年12月～令和2年1月
- 調査方法 しずおか電子申請サービス 簡易申請方式によるアンケート
- 回答方式 マークシート、又はインターネット上のアンケートフォーム
- 回答数 1,532 人

(3) 設問の概要

- 基本属性(問1～問4)
- 庁内の情報化の取組に対する要望(問5～問9)
- 庁内のワークスタイル変革について(問10～問12)
- 庁内の情報化を進める上での課題(問13)
- 市民サービス、情報発信について(問15～問17)
- 最近のICTのトレンドで期待しているもの(問18)

(4) 調査の概要

● 基本属性

問1 年齢

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
30歳未満	184	12.0%
30歳以上40歳未満	399	26.0%
40歳以上50歳未満	472	30.8%
50歳以上	477	31.1%

問2 性別

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
男性	945	61.7%
女性	587	38.3%

問3 職種

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
一般事務職	578	37.7%
技術職(土木・建築等)	171	11.2%
保健師	24	1.6%
消防職	289	18.9%
保育士・幼稚園教諭	210	13.7%
技能労務職(調理員・環境整備士等)	27	1.8%
臨時職員	193	12.6%
その他	40	2.6%

問4 職位

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
課長相当職以上	93	6.1%
統括主幹相当職	198	12.9%
主幹相当職、消防司令等	212	13.8%
主査相当職、副主任保育士、消防司令補等	325	21.2%
上席主事、上席技師、上席指導員、上席指導員、上席保育士、消防士長等	221	14.4%
主事、技師、消防副士長等	95	6.2%
主事補、技師補、指導員、保育士、幼稚園教諭、消防士等	198	12.9%
その他	190	12.4%

● 庁内の情報化の取組に対する要望

問5 庁内の情報化の取組に対する要望はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
インターネット閲覧規制の緩和	544	35.5%
ソフトウェアの改善	418	27.3%
ネットワークの改善	358	23.4%
ハードウェアの改善	331	21.6%
AI・IoT・RPA等の先進技術の利用	289	18.9%
研修の強化	265	17.3%
ワークスタイル改革	212	13.8%
クラウドサービスの利用	126	8.2%
特にない	461	30.1%
その他	2	0.1%

問6 ソフトウェアの改善要望につきまして、あてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
画面の見やすさ	759	49.5%
操作の簡素化	663	43.3%
レスポンスの速さ	532	34.7%
部署間連携強化(データの一元化等)	219	14.3%
ソフトの追加	183	11.9%
特になし	315	20.6%
その他	2	0.1%

問7 ハードウェアの改善要望につきまして、あてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
ディスク容量の増加	770	50.3%
処理速度の向上	627	40.9%
端末の増設	171	11.2%
特になし	469	30.6%
その他	2	0.1%

問8 ネットワークの改善要望につきまして、あてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
回線速度の向上	606	39.6%
無線LANの整備	521	34.0%
特になし	622	40.6%
その他	1	0.1%

問9 あなたが受講したい情報活用能力向上のための研修について、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
ワードやエクセルなどのオフィスソフトの操作研修	597	39.0%
自分の担当の業務システムの利用をさらに円滑に行うための研修	448	29.2%
AIやIoT、RPA等を利用した情報化事例、先進技術の紹介	360	23.5%
庁内イントラネットサービスの利用をさらに円滑に行うための研修	245	16.0%
情報セキュリティ対策についての研修	139	9.1%
わからない	91	5.9%
特になし	393	25.7%
その他	10	0.7%

● 庁内のワークスタイル変革について

問 10 ワークスタイル改革の要望につきまして、あてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
タブレット端末の利用	594	38.8%
テレワーク(在宅勤務)	389	25.4%
ペーパーレス会議	263	17.2%
テレワーク(サテライトオフィス)	209	13.6%
特になし	630	41.1%
その他	11	0.7%

問 11 もし、テレワーク制度があれば利用したいと思いますか。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
利用したい(在宅勤務)	356	23.2%
利用したい(サテライトオフィス)	113	7.4%
利用するつもりはない	278	18.1%
どちらともいえない	410	26.8%
わからない	361	23.6%
その他	14	0.9%

問 12 問 11 で「利用するつもりはない」と回答した方はその理由を教えてください。

	(人)	(%)
全体	278	100.0%
テレワークに適した仕事が無い	158	56.8%
業務の進行に支障がある	92	33.1%
漠然と必要性を感じない	61	21.9%
社内のコミュニケーションに支障がある	54	19.4%
外部と連絡に支障がある	52	18.7%
評価がどうなるか不安	5	1.8%
その他	15	5.4%

● 庁内の情報化を進める上での課題

問 13 庁内の情報化を進めていく上で、必要となる要件、課題と思われる点について、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
職員の情報活用能力の向上	933	60.9%
使いやすい情報システム(ソフトウェア)の整備	846	55.2%
情報セキュリティ対策	504	32.9%
IT関連専門知識をもった各業務担当課職員の育成	499	32.6%
組織・体制・ルールの整備	292	19.1%
業務担当課の情報化に対する意識改革	268	17.5%
庁内情報基盤(ハード)の整備	253	16.5%
費用対効果	228	14.9%
主管部門のリーダーシップ	150	9.8%
市長のリーダーシップ	112	7.3%
その他	26	1.7%

● 市民サービス、情報発信について

問 15 今後富士市として、どの分野に重点をおいて情報化を進めていくのが効果的だと思いますか。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
各種申請・行政手続情報	866	56.5%
防災・気象・災害時の情報	802	52.3%
出産・子育て・育児情報	601	39.2%
健康・福祉・介護・医療情報	555	36.2%
観光・イベント情報	505	33.0%
スポーツ・文化などの施設情報	349	22.8%
高齢者の暮らしに関する情報	342	22.3%
外国人向けの情報	336	21.9%
学校教育・生涯学習情報	303	19.8%
道路・交通情報	291	19.0%
年金に関する情報	290	18.9%
生活情報・相談情報	288	18.8%
企業・雇用情報	234	15.3%
住まいの情報	208	13.6%
相続に関する情報	171	11.2%
環境・自然に関する情報	144	9.4%
引越しに関する情報	143	9.3%
ボランティア情報	133	8.7%
結婚に関する情報	125	8.2%
市議会情報	72	4.7%
その他	27	1.8%

問 16 今後富士市が情報化を進めていく上で、どんな市民サービスを提供していくことが良いと思いますか。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
自宅や地区まちづくりセンターなど身近な所で市役所とやり取り(手続き)ができる環境整備	826	53.9%
災害時などにおいて、避難者情報の登録や避難場所の検索を行うサービス	691	45.1%
行政手続きの電子申請	467	30.5%
公共料金(税金含む)などの決済に係るサービス	464	30.3%
検診、健康診断又は健康相談の申し込み、結果照会を行うサービス	452	29.5%
公共交通機関の利用に係るサービス	430	28.1%
公共施設や観光スポットなどでの公衆無線LANサービス	397	25.9%
コンビニエンスストアでの証明書発行サービス	368	24.0%
外国人対応(多言語対応等)	353	23.0%
スマホを活用した通報システム	352	23.0%
自治体が保有する公共データを利活用されやすい形で公開するサービス(行政情報のオープンデータ化)	304	19.8%
医療機関等の施設検索	284	18.5%
ホームページ等での相談窓口	189	12.3%
インターネットを活用した商業支援サービス	177	11.6%
電子地図情報(GIS)の活用	163	10.6%
IT講習会の充実・継続的な開催など、パソコン操作・情報利活用能力の向上支援	157	10.2%
農作物の計画、生産、販売に係る情報の一元的な管理、収集、提供による農業支援	113	7.4%
購入希望図書申請等をインターネットで行うサービス	104	6.8%
情報セキュリティなど勉強会の開催	98	6.4%
問合せに対応するチャットボット	98	6.4%
特定個人向けのプッシュ型(必要な情報をお知らせする)サービス	91	5.9%
その他	21	1.4%

問 17 情報発信の在り方について、次の中からあてはまるものを一つ選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
SNS等、ICTを利用した情報発信を積極的に取り入れるべき	731	47.7%
ホームページを充実させれば十分	305	19.9%
紙媒体による情報発信を強化すべき	84	5.5%
わからない	373	24.3%
その他	39	2.5%

● 最近の ICT のトレンドで期待しているもの

問 18 最近の ICT のトレンドで期待しているものについて、すべて選んでください。

	(人)	(%)
全体	1,532	100.0%
スマートデバイス(スマートフォン・タブレット等)	527	34.4%
5G	483	31.5%
SNS	406	26.5%
AI	396	25.8%
IoT	319	20.8%
ビッグデータ・オープンデータ・パーソナルデータ	190	12.4%
クラウド技術	173	11.3%
RPA	163	10.6%
eスポーツ	132	8.6%
仮想化技術	86	5.6%
わからない	302	19.7%
特になし	157	10.2%
その他	3	0.2%

3. 用語解説

「IT」と「ICT」と「デジタル」について

情報化を表現する言葉として、これまで、IT（「Information Technology＝情報技術」）やICT（「Information and Communication Technology＝情報通信技術」）という略語が一般的に用いられてきました。

「IT」は、コンピュータ関連の情報技術そのものを指しますが、「ICT」は、パソコンやタブレット、スマートフォンなどが普及する中、情報の伝達にも焦点を当てており、単なる情報の処理、活用ではなく、関係者間のコミュニケーションを重要視する場面で利用されています。

これに加え、「デジタル」は、近年、国がデジタル社会の形成に向けた官民の施策や取組を迅速かつ重点的に推進していることから用いられるようになり、本来の意味である、情報を値により表すこと、また、そのような情報処理方式を意味するのではなく、あらゆる分野において、ICTやデータを活用し、新たなサービスや価値を生み出すことに焦点を当てたもので、「IT」や「ICT」と同様に情報化を表現する言葉として扱われるようになりました。

注)本市における各種計画や資料などにおいて、すべて「デジタル」を用いることを定めたわけではなく、今後も必要に応じて「IT」や「ICT」を用いる場合があります。

五十音順

◆ アイデアソン

《idea(アイデア) + marathon(マラソン)からの造語》一定期間、特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合い、共同作業で問題解決を図る催し。

◆ アクセシビリティ【accessibility】

情報やサービス、ソフトウェアなどが、どの程度広汎な人に利用可能であるかを表す語。特に、高齢者や障害者などハンディを持つ人にとって、どの程度利用しやすいかという意味で使われることが多い。

◆ インスタグラム【Instagram】

米国の大手写真共有サービスの一つ。2010年にサービス開始。同名のモバイルアプリにより、スマートフォンなどで撮影した写真や動画を投稿・共有できるほか、写真をレトロ風や映画風などに加工する各種フィルターが用意されている。

◆ インターネット【Internet】

共通の通信手順を用いて世界中のコンピュータあるいはコンピュータネットワークを相互に接続している通信網のこと。インターネットでは、各コンピュータに割当てられたIPアドレスと呼ばれる識別番号を元に、ネットワークに接続されたコンピュータを一意に識別し、ネットワーク越しに他のコンピュータと接続することを可能にしている。インターネットには自由に参加できるが、利用するためにはインターネットの通信網に接続する必要がある。一般利用者はインターネットサービスプロバイダ（ISP:インターネット接続業者）と契約して、電話回線や光回線などを用いた通信をインターネットに接続させることにより、各家庭からのインターネット接続が可能になる。今日、インターネットはパソコンだけでなく携帯電話や生活家電、家庭用ゲーム機などからも接続可能となっており、日常生活への浸透がますます進んでいる。

◆ インボイス制度

消費税の仕入税額控除の方式の一つで、課税事業者が発行するインボイス(請求書などで税額が明示された書類)に記載された税額のみを控除することができる方式のことである。

◆ ウイルス(コンピュータウイルス)【computer virus】

他人のコンピュータに勝手に入り込んで悪さをするプログラム。画面表示をでたらめにしたり、無意味な単語を表示したり、ディスクに保存されているファイルを破壊したりする。ウイルスはインターネットからダウンロードしたファイルや、他人から借りた USB メモリなどを通じて感染する。最近では電子メールを介して感染するタイプのウイルス(ワーム)もある。大抵は使用者の知らないうちに感染する。また、ウイルスに感染したことに気づかずにコンピュータを使用し続けると、他のコンピュータにウイルスを移す危険性もある。

◆ ウェブアクセシビリティ【Web accessibility】

ウェブページについての「利用のしやすさ」のこと。

◆ ウェブサイト【web site】

1冊の本のように、ひとまとまりに公開されているウェブページ群。また、そのウェブページ群が置いてあるインターネット上での場所。ウェブサイト内のページはリンクで連結され、互いに行き来できるようになっている。ウェブサイトの入り口であるトップページ(ホームページ)と、ウェブサイトを構成する一連のウェブページ、画像ファイルなどからなる。

◆ オープンイノベーション【open innovation】

新技術・新製品の開発に際して、組織の枠組みを越え、広く知識・技術の結集を図ること。一例として、産学官連携プロジェクトや異業種交流プロジェクト、大企業とベンチャー企業による共同研究などが挙げられる。

◆ オープンガバナンス【open governance】

市民と行政が協働で地域の課題解決にあたる市民参加型社会の新しい公共サービスの枠組み

◆ オープン系システム【open system】

様々な開発元のソフトウェアや機器を組み合わせて構築されたコンピュータシステムのこと。

◆ オープンデータ【open data】

機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータであり、人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とするものこと。

◆ オンデマンドプリント機能

少数の印刷物を必要に応じて迅速に印刷するサービスのこと。

◆ オンラインサービス【online service】

ネットワークを通じて提供される各種サービスの総称である。主にニュースの配信、オンラインデータベースの参照、オンラインショッピングやオンラインゲームなどが含まれる。

◆ オンライン【on-line】

端末機器が、通信回線などを使ってネットワークやホストコンピュータに接続されている状態のことをオンラインといい、この状態を実現することをオンライン化という。

◆ ガバメントクラウド(Gov-Cloud)

政府の情報システムについて、共通的な基盤・機能を提供する複数のクラウドサービス(IaaS、PaaS、SaaS)の利用環境のこと。

- ◆ **クラウド(クラウドコンピューティング)【cloud computing】**

データサービスやインターネット技術等が、ネットワーク上にあるサーバ群(クラウド(雲))にあり、ユーザーは今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」利用することができる新しいコンピュータネットワークの利用形態。
- ◆ **クラウドソーシング【crowdsourcing】**

《crowd(大衆)とアウトソーシングからの造語》インターネット上で不特定多数の人材に対して業務内容と報酬を提示し、仕事を発注する手法。社外から効率よく人材を募ることができるほか、コンペ形式で発注先を決めることも可能。通常、発注者と受注者はネット上の専用サービスによって仲介される。
- ◆ **グローバル【global】**

世界的な規模であるさま。国境を越えて、地球全体にかかわるさま。
- ◆ **ケーブルテレビ(CATV【Community Antenna Television】)**

テレビの有線放送サービス。山間部や人口密度の低い地域など、地上波テレビ放送の電波が届きにくい地域でもテレビの視聴を可能にするという目的で開発された。近年では多チャンネルや電話サービス、高速なインターネット接続サービスなどを武器に、都市部でも加入者を増やしている。
- ◆ **コールセンター【call center】**

自治体や企業の中で、市民や顧客への電話対応を専門に行う部署。特に、消費財メーカーや通信販売事業者などが設けている、一般消費者からの問い合わせ受付窓口となる大規模な電話対応センターのこと。
- ◆ **コミュニティ FM 放送**

コミュニティ(英語:community)を放送単位とする放送局形態の1つ。市区町村又は政令指定都市の行政区内の一部の地域(隣接地域を含む場合あり)を放送対象地域とする放送のこと。すべてVHF(超短波)の放送帯(76.0~90.0MHz)の中の周波数を使用し、変調方式にはFM(Frequency Modulation、周波数変調)が使われているため、市販のFM対応ラジオで聴取できる。
- ◆ **コワーキングスペース【coworking space】**

独立して働く個人が、机・椅子・ネットワーク設備などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所。月極や時間制で借りる形式のものが多いが、利用者同士の積極的な交流や共働といったコミュニティ形成を促すという点において、従来のレンタルオフィスとは異なる。
- ◆ **コンテンツ【contents】**

内容、中身という意味の英単語。メディアが記録・伝送したひとまとまりの情報(映像や画像、音楽、文章、あるいはそれらの組合せ)のこと。具体的には、ニュース、小説、映画、テレビ番組、歌、ビデオゲーム、マンガ、アニメなどを指す。デジタルデータ化されたものをデジタルコンテンツという。
- ◆ **コンテンツマネジメントシステム【Contents Management System , CMS】**

ウェブコンテンツを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、サイトを構築したり編集したりするソフトウェアのこと。広義には、デジタルコンテンツの管理を行うシステムの総称。

◆ サーバ【Server】

コンピュータネットワークにおいて、クライアントコンピュータに対し、自身の持っている機能やデータを提供するコンピュータのこと。インターネットにおける WWW サーバなどが該当する。また、クライアントソフトウェアに対し、自身の持っている機能やデータを提供するソフトウェアのこと。

◆ サイバー攻撃

コンピュータシステムやインターネットなどを利用して、標的のコンピュータやネットワークに不正に侵入してデータの詐取や破壊、改ざんなどを行うことや標的のシステムを機能不全に陥らせること。特定の組織や集団、個人を狙ったものと、不特定多数を無差別に攻撃するものがある。

◆ サテライトオフィス【satellite office】

都市周辺部に設置され、都市部にある本社とデジタル通信・ファクシミリなどによって情報交換を行うオフィス。職住近接を目的とする。

◆ サプライチェーン【supply chain】

商品が消費者に届くまでの「原料調達」に始まり「製造」「在庫管理」「物流」「販売」等を通じて消費者の手元に届くまでの一連の流れのこと。供給(supply)を鎖(chain)に見立て、ひと続きの連続した流れとして捉える考え方。「供給連鎖」ともいう。

◆ シェアオフィス【shared office】

複数の利用者が、一つの建物や部屋を共有する形態の事務所。

◆ シティプロモーション【city promotion】

観光客増加・定住人口獲得・企業誘致等を目的として、地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動。

◆ 自治体クラウド

複数の地方自治体の情報システムを一つに集約し、通信ネットワークを通じて共同利用するシステム。クラウドコンピューティングを自治体の情報システムに適用したもの。従来は各市区町村・都道府県がそれぞれの庁内で個別に開発・運用していた情報システムのうち、自治体ごとの違いが少ない汎用的なシステムを共同で開発・運用するもので、民間の事業者などが運営するデータセンターなどに機材を設置し、職員は各庁舎などから通信回線を通じてシステムを利用する。複数の自治体が共同することでシステムにかかるコストや業務、人員を削減でき、専門のデータセンターを利用することでセキュリティ向上や災害対策も進めやすくなるとされる。

◆ 情報セキュリティ対策

セキュリティとは、安全、保安、防衛、防護、治安、安心、保障、などの意味を持つ英単語。ICT の分野では、データやシステム、通信路などを暗号や防御ソフト、アクセス制御機構などを用いて技術的に保護し、機密漏えいや外部からの攻撃・侵入、盗聴、改ざんなどの危険を排除すること。保護する対象により、「ネットワークセキュリティ」「コンピュータセキュリティ」「情報セキュリティ」など様々な分野がある。

◆ 情報リテラシー

情報を十分に使いこなせる能力。大量の情報の中から必要なものを収集し、分析・活用するための知識や技能のこと。メディアリテラシーやコンピューターリテラシーとほぼ同義に用いられることもある。

◆ シンククライアント【thin client】

自治体や企業の情報システムにおいて、職員や社員が使うコンピュータ(クライアント)には最低限の機能しか持たせず、サーバ側でアプリケーションソフトやファイルなどの資源を管理するシステムの総称。また、そのようなシステムを実現するための、機能を絞った低価格のクライアント用コンピュータ。

◆ スマートデバイス【smart device】

携帯型パソコン(ノート PC)以外で、あらかじめ用途や機能が固定されておらず、ソフトウェアや周辺機器を追加、若しくは入れ替えることで様々な用途に利用できる、個人用のコンピュータ製品の総称。厳密な定義はないが、一般的にはスマートフォンとタブレット型端末の総称という意味で用いられる。

◆ セキュリティポリシー【security policy】

自治体や企業全体の情報セキュリティに関する基本方針。広義には、セキュリティ対策基準や個別具体的な実施手順などを含む。どの情報を誰が読み取れるようにするか、どの操作を誰に対して許可するか、どのデータを暗号化するかなど、情報の目的外利用や外部からの侵入、機密漏えいなどを防止するための方針を定めたもの。

◆ ソフトウェア【software】

コンピュータを動作させる手順・命令をコンピュータが理解できる形式で記述したもの。コンピュータプログラムとほぼ同じ意味。「SW」「S/W」などの略号で示されることもある。ソフトウェアはその役割によって基本ソフトウェア(オペレーティングシステム)とアプリケーションソフトに大別される。Windows や Mac OS、UNIX などは前者に当たり、ワープロソフトや表計算ソフトなどは後者に分類される。

◆ 庁内 LAN

庁舎内の LAN のこと。LAN とは同軸ケーブル、光ファイバーなどを使って、同じ建物の中にあるコンピュータやプリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークのこと。

◆ ツイッター【Twitter】

今していること、感じたことなどを「つぶやき」のような短い文章にして投稿するスタイルのブログサービスの一つ。

◆ デジタルアーカイブ【digital archive】

博物館・美術館・公文書館などの所蔵資料や、自治体・大学・研究機関などの公共性が高いデータを電子化して管理・公開するシステム。絵画・彫刻・文書・写真・音声・映像などを対象とし、インターネットを通じて資料目録を検索したり、デジタル画像などを閲覧したりできる。

◆ デジタル・トランスフォーメーション 【digital transformation】

IT(情報技術)が社会のあらゆる領域に浸透することによってもたらされる変革。2004 年にスウェーデンの E=ストルターマンが提唱した概念で、ビジネス分野だけでなく、広く産業構造や社会基盤にまで影響が及ぶとされる。デジタル変革。DX。

◆ デジタルマーケティング【digital marketing】

各種デジタル技術を利用したマーケティング活動の総称。スマートフォンのアプリやデジタルサイネージ、実店舗におけるモバイル決済やポイントサービスなど。

- ◆ **データサイエンス【data science】**

データの分析についての学問分野。統計学、数学、計算機科学などに関連し、主に大量のデータから、何らかの意味のある情報、法則、関連性などを導き出すこと、又はその処理の手法に関する研究を行う。
- ◆ **データセンター【data center】**

自治体や企業のデータや機器を預かり、管理・運用などを行う拠点のこと。「インターネットデータセンター」(IDC)とも呼ばれる。データセンターは、耐震性に優れた建物に高速な通信回線を引き込んだ施設で、自家発電設備や高度な空調設備を備え、個人認証カードによる入退室管理や、カメラによる24時間監視などでセキュリティを確保している。
- ◆ **テレメータ【telemeter】**

遠隔地から伝送された測定量を計測・記録する装置のこと。重症患者のモニター、人工衛星による観測データの収集などに利用される。
- ◆ **テレワーク【teleworking】**

通信ネットワークを利用して、オフィス以外の場所で働く労働形態のこと。在宅勤務の一形態とも考えられる。従業者にとっては、通勤の必要がない、自由に労働時間を選べるなどのメリットがある。テレワークでは業績評価がしにくいなどの課題も残されているが、交通渋滞や通勤ラッシュの緩和など、社会的なメリットも多く、普及が期待されている。
- ◆ **電子自治体**

ICT(情報通信技術)を導入し、日常業務の電子化を図ることで、住民に向けた行政サービスの利便性を高めたりする地方自治体のこと。電子化には、パソコンやグループウェアの導入によるペーパーレス化、電子メールやウェブサイトを活用した行政サービスの拡充や情報公開、電子入札システムを使った工事コストの削減など多岐にわたる。住民基本台帳ネットワーク、総合行政ネットワーク(LGWAN)など国と地方自治体とが連携をとりながら進める電子化もある。
- ◆ **電子入札**

国や地方自治体が発注する工事などの入札手続をインターネット上で行うこと。通常のインターネット利用と比べて高度なセキュリティレベルが必要となるため、国土交通省では事前に電子証明書をICカード形式で発行することにより、不正入札を防止している。
- ◆ **ドローン【drone】**

無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称。
- ◆ **二要素認証**

2つの認証方式を併用して精度を高めた認証方式のこと。認証方式は大きく分けて、ID/パスワードなど対象者の知識を利用したもの、USB トークンやスマートカードなど対象者の持ち物を利用したもの、バイオメトリクスなど対象者の身体の特徴を利用したもの、の3つに分かれる。通常はこのうちどれか一つを利用して認証を行うが、それぞれに一長一短があり、単一の方法で精度を高めるには限度がある。2要素認証はこのうちの2つの方式を組み合わせる方式である。
- ◆ **ハザードマップ【hazard map】**

地震・台風・火山噴火などにより発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度などを示した地図。災害予測地図。

◆ バスロケーションシステム

バスの位置を GPS などの位置情報サービスによって追跡するシステムの通称。バス事業者による運転感覚の調整や、バス利用者による待ち時間(バス到着時刻)の確認などが可能となり、道路状況に左右されやすいバスの運用を改善する。

◆ 8K

現行のハイビジョンを超える解像度の映像のこと。水平方向の画素数が約8千であることから、8Kと呼ばれる。8K は現行ハイビジョンの 16 倍の解像度となる。

◆ ハッカソン

《hack(ハック) + marathon(マラソン)からの造語》ソフトウェア開発者が、一定期間集中的にプログラムの開発やサービスの考案などの共同作業を行い、その技能やアイデアを競う催し。

◆ バリアフリー【barrier free】

高齢者や障害者が社会生活を送る上で、障壁となるものを取り除くこと。

◆ ビッグデータ【big data】

利用者が急激に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれた GPS(全地球測位システム)から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、ボリュームが膨大であるとともに、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群。

◆ 5G【5th Generation】(第 5 世代移動通信システム)

「超高速」だけでなく、「超低遅延」「多数同時接続」といった特長を持つ新しい移動通信システムのこと。我が国においては、平成 31 年4月に周波数割当てを実施し、令和2年3月から商用サービスが開始された。

◆ フェイスブック【Facebook】

2004 年に米国の学生向けコミュニティサイトとして開始された SNS の名称。2006 年にはどのようなメールアドレスでも登録可能となり、事実上誰でも Facebook に参加できるようになった。

◆ ブロードバンド【broadband】

データ伝送に使う周波数帯域の幅が広いこと。転じて、高速又は大容量の意。データ伝送に用いる周波数の下限と上限の幅を帯域幅(バンド幅)と呼ぶ。この幅が広いと一定時間により多くのデータを伝送できる。ブロードバンド回線は高速な回線を指し、ブロードバンドコンテンツは伝送に高速回線が必要となる動画のような大容量コンテンツ(データ)を指す。速度に関する定義はないが、ADSL や CATV インターネット、光ファイバーなどをブロードバンド回線と呼ぶことが多い。

◆ ブログ【blog】

web と log(履歴)という言葉合成した weblog が原義で、これを縮めたのが blog。日記のように簡単に更新できるウェブサイトのこと。デザインなどには制約はあるが、簡単に書き込み、画像や音声を掲載することもできる。また、書かれたものに対してコメントができるコメント機能や、他のブログなどにリンクが簡単に張れる機能(トラックバック機能)がある。

◆ ブロックチェーン【block chain】

分散型ネットワークを構成する多数のコンピュータに、公開鍵暗号などの暗号技術を組み合わせ、取引情報などのデータを同期して記録する手法。ビットコインなどの暗号通貨に用いられる基盤技術。一部のコンピュータで取引データを改竄(かいざん)しても、他のコンピュータとの多数決によって正しい取引データが選ばれる。名称は、取引情報の履歴が鎖状につながれていることに由来する。分散型台帳。

◆ ヘルプデスク【help desk】

組織内で、顧客や従業員など内外からの問い合わせに対応する部門のこと。製品の使用方法やトラブル時の対処法、苦情への対応など様々な問い合わせを一括して受け付ける。

◆ ポータルサイト【portal site】

インターネットの入り口となる巨大なウェブサイトのこと。検索エンジンやリンク集を中心に、ニュースや株価などの情報提供サービス、ブラウザから利用できるウェブメールサービス、電子掲示板、チャットなど、インターネット利用者がインターネットで必要とする機能をすべて無料で提供している。

◆ ホワイトハッカー【white hacker】

コンピュータやネットワークシステムにテストなどの目的で侵入し、セキュリティ上の欠陥を調べたり、悪意をもったハッカーやクラッカーによる不正侵入を監視したりするハッカー。

◆ マイナポータル(情報提供等記録開示システム)

マイナンバーの付いた自分の情報を、行政機関がいつ、どことやり取りしたのかをパソコンなどで確認できるサービス。2017年1月から開始されている。

◆ マイナンバー【My Number】(社会保障・税番号)

社会保障や納税などの際に国民一人一人を識別するための12桁の番号。日本政府が発行・管理するもので、自治体に住民票を持つすべての国民と特別永住者など国内に居住する一部の外国人に発行される。

◆ マイナンバーカード

マイナンバー制度で、本人の申請により交付されるICカード。氏名・住所・生年月日・性別・顔写真・個人番号(マイナンバー)などが表示され、本人確認の際の公的な身分証明書として利用できる。

◆ 無線 LAN【Wireless LAN】

LANの構築形態のうち、特に無線通信を用いて接続された通信ネットワークのこと。親機に当たる無線 LAN アクセスポイントと、子機に当たる無線 LAN アダプタによって構成される。

◆ 4K

現行のハイビジョンを超える解像度の映像のこと。水平方向の画素数が約4千であることから、4Kと呼ばれる。4Kは現行ハイビジョンの4倍の解像度となる。

◆ ワークライフバランス【work-life balance】

やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。仕事と生活の調和。企業はこの実現のために、フレックスタイム、育児・介護のための時短、在宅勤務、テレワークなどを導入している。

◆ ワークेशन【workation】

《work(ワーク) + vacation(バケーション)からの造語》休暇中、特に旅行先でテレワークを行うこと。

[補説] 従来のテレワークは、自宅やレンタルオフィスなど特定の場所で、時間を決めて行うのが原則とされていたが、ワークेशनではその制約をなくし、長期休暇の旅行先でのテレワークも、勤務と認められる。

◆ ワンストップ(総合窓口)サービス【one stop service】

一度の手続で、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計された行政サービス。行政改革の一環として、行政手続の電子化や広域連携によって、手続回数を減少させ、コスト削減と利便性の向上を図る構想のこと。例えば、住民票の移動に際して、転出の届出と転入の届出とを同時に行えるようにする、などといったものである。また、窓口だけでなくパソコンや情報端末からの手続を可能にすることも目指している。

アルファベット順

◆ AI【Artificial Intelligence】(エーアイ)

人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。

◆ BCP【Business Continuity Planning】(ビーシーピー)

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

◆ BYOD【bring your own device】

私物のパソコン・スマートホン・タブレット型端末などを業務に利用すること。従来、業務用端末は会社が支給していたが、コスト削減のほか、社員が複数端末を持つ煩わしさがなく、普段から使い慣れている端末を利用できるという利点がある。専用のアプリケーションの導入や、通信費の公私の割り振りをするサービスも普及している。

◆ CIO【Chief Information Officer】(シーアイオー)

日本語では「最高情報責任者」「情報システム担当役員」「情報戦略統括役員」など。企業や行政機関等といった組織において情報化戦略を立案、実行する責任者のこと。

◆ e スポーツ【electronic sports】(エースポーツ)

主に対戦型のコンピューターゲームで行われる競技のこと。高度な技能を競うコンピューターゲームをスポーツ競技の一種と見なしたもので、アジアや欧米ではプロリーグが存在する。

◆ e-Tax(イータックス)(国税電子申告・納税システム)

国税について、インターネットを通じて申告し、ネットバンキングや ATM などでも納税できるシステム。税務署に行かなくても所得税や法人税、消費税などの申告ができ、税務署の開庁時間外や休日でも手続できる。

◆ eLTAX(エルタックス)(地方税ポータルシステム)

地方税における手続を、インターネットを利用して電子的に行うシステムのこと。

◆ EdTech(エドテック)

Education(教育) × Technology(科学技術)を掛け合わせた造語。教育分野に革新をもたらすものを含めた、AI、ビッグデータなどのデジタルテクノロジーを活用した取組。

- ◆ **GIGA スクール(ギガスクール)**

《GIGA は global and innovation gateway for all の略》令和元年(2019)に文部科学省が発表した、学校教育における ICT 環境整備についての構想。全国の小中高校などで高速大容量の通信ネットワークを整備し、児童生徒 1 人 1 台のパソコン・端末の普及を目指す。
- ◆ **GIS(ジーアイエス)**

《geographic information system》さまざまな地理データを、衛星やコンピュータなどを利用して収集、分析、処理し、地図情報とその他の情報を統合的に活用するシステム。地理情報システム。地図情報システム。
- ◆ **IC チップ(アイシーチップ)**

高度の機能を持つ電子部品の一つで、トランジスタ、抵抗、コンデンサ、ダイオードなど、多数の微細な電子素子を一つの基板の上で連結し、全体として複雑な処理を行ったり、大量のデータの記憶を行ったりできるもの。
- ◆ **ICT ガバナンス(アイシーティーガバナンス)**

自治体や企業などが自組織の情報システムの導入や運用を組織的に管理する仕組みのこと。
- ◆ **ICT-BCP【Business Continuity Plan】(アイシーティービーシーピー)**

ICT 部門の BCP(業務継続計画)のこと。BCP とは、何らかの障害が発生した場合に重要な業務が中断しないこと、又は業務が中断した場合でも目標とした復旧時間内に事業が再開できるようにするための対応策などを定めた包括的な行動計画を指す。
- ◆ **JSON【JavaScript Object Notation】(ジェイソン)**

JavaScript から派生した、データ交換を行うためのデータ記述形式の一種。
- ◆ **MaaS【mobility as a service】(マース)**

出発地から目的地まで、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の交通手段やその他のサービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括して提供するサービス。
- ◆ **OA【Office Automation】(オーエー)**

コピー機や FAX、コンピュータなどの情報機器を用いて、事務作業を効率化すること。
- ◆ **PDCA(ピーディーシーエー)**

業務改善や目標達成のために、継続的に生産プロセスを改善していくためのフレームワーク。「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価)」「Action(改善)」という英単語の頭文字をとったもので、各フェーズを繰り返し循環させることで改善が進むため、「PDCA サイクル」とも呼ばれる。
- ◆ **PHS【Personal Handy-phone System】(ピーエッチエス)**

設備や仕様を簡略化し、通話料を低く抑えた携帯電話の一種。一つの基地局がカバーする範囲が狭く、端末1台当たりの周波数帯域が携帯電話よりも広いこと、データ通信の速度は携帯電話に比べて極めて高速で、快適な通信環境を実現できる。
- ◆ **QR コード【Quick Response code】(キューアールコード)**

日本で開発された正方形の2次元バーコードの一種のこと。QR コードは日本で最も普及している 2次元コードで、自動車工場のカンバン(現品札)などに使われている。最近では携帯電話に QR コードの読み取り機能が搭載され、インターネットの URL などボタン操作で入力するのは面倒なデータを簡単に入力できる手段として普及している。

- ◆ **SDGs【Sustainable Development Goals】（エスディーゼーズ）**
2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
- ◆ **SNS【Social Networking Service】（エスエヌエス）**
人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブサイトのこと。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供したりする。
- ◆ **Society5.0（ソサイエティ）**
サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供することで経済的発展と社会課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる、人間中心の社会。
- ◆ **STEAM教育（スティームきょういく）**
科学・技術・工学・数学に重点を置くSTEM教育に、芸術を加えた統合的な教育。現実の社会問題を解決する力や創造性豊かな発想を養うことを目的とする。STEAMは科学（science）、技術（technology）、工学（engineering）、芸術（art）、数学（mathematics）の頭文字から成る。

< 出典 >

- [世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画]
- [総務省 国民のための情報セキュリティサイト 用語辞典]
- [デジタル大辞泉][日経パソコン用語事典][情報通信白書][IT用語辞典 e-Words]
- [Cybouz.net :IT用語辞典][e-Wordsgoo 辞書][HITACHI:電子行政用語集]
- [IT用語辞典:BINARY][Weblio 辞書][@IT情報マネジメント用語事典]
- [地方自治体によるガバメントクラウドの活用について(案)]
- [外務省ウェブサイト][一般社団法人オープンガバナンスネットワークウェブサイト]

4. 第六次富士市総合計画施策体系及び本計画との関係

「政策の体系」との関係



基本目標		第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎:重点事業、○:推進事業、◇:継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所管部署名
政策分野	施策		
A2 次代を担うひとを育むまち			
A2-1 子育て			
A2-1-1	切れ目のない子育て支援の充実	1-1- 5 子育てワンストップサービスの提供 ◎ 3-5-38 ひとり親家庭等入学祝い金給付事業の運用 ◇	こども家庭課 子育て給付課 保育幼稚園課 子育て給付課
A2-1-2	子育てしやすい環境の整備	1-1- 9 保育園等ICT化事業 ◇DX 3-1- 3 保育所入所AIマッチングの運用 ◎DX	保育幼稚園課 保育幼稚園課
A2-1-3	子どもと家族の健康の保持・増進		
A2-2 子ども・若者			
A2-2-1	子どもの健やかな成長への支援	1-1- 4 子育て支援アプリ運用実施 ◎DX 3-5-37 児童家庭相談管理システムの運用 ◇	こども未来課 こども家庭課
A2-2-2	若者の希望をかなえる支援		
A2-2-3	青少年健全育成の推進		
A2-3 学校教育			
A2-3-1	自立し生きる力をもつ児童生徒の育成	3-5-81 学籍管理システムの運用 ◇ 2-1- 1 GIGAスクール構想の推進 ◎DX 2-1- 5 看護学生へのデジタル技術を活用した学習支援 ◇DX 2-5-14 学校等防犯関連システムの運用 ◇ 2-5-15 児童生徒へのICTによる学習支援 ◇	学務課 学校教育課 看護専門学校 教育総務課 学校教育課
A2-3-2	教育の質の向上及び環境整備	2-5-16 学校図書館システムの運用 ◇ 2-5-17 ICT支援員の配置 ◇ 3-4- 4 学校給食費・校納金徴収事業 ○ 3-5-36 ふじやま学園利用者管理システムの運用 ◇ 3-5-46 看護学校学生情報管理システムの運用 ◇ 3-5-80 校務のICT化 ◇	学校教育課 学校教育課 教育総務課 障害福祉課 (ふじやま学園) 看護専門学校 学校教育課
A2-3-3	魅力ある市立高校づくりの推進	2-1- 2 富士市立高等学校校内LAN整備事業 ◎DX 2-1- 3 富士市立高等学校ICT教育推進事業 ◎DX 2-1- 4 富士市立高等学校遠隔・オンライン教育推進事業 ◎DX 1-5-18 図書館の資料検索・予約システムの運用 ◇ 2-5-18 中央図書館公衆無線LAN運用 ◇ 1-5-16 文化財データの情報公開 ◇ 1-5-17 富士市立博物館収蔵品データの情報公開 ◇	富士市立高等学校 富士市立高等学校 富士市立高等学校 中央図書館 中央図書館 文化財課 文化財課 (博物館)
A2-4 社会教育			
A2-4-1	多様な学びの場の充実		
A2-4-2	文化財保存・活用の推進		
A2-5 市民スポーツ・市民文化			
A2-5-1	生涯スポーツの推進	1-5-6 スポーツ関連情報の提供 ◇	文化スポーツ課 交流観光課
A2-5-2	文化芸術活動の振興		
A2-5-3	スポーツ・文化環境の充実	2-2-19 文化会館会議室の公衆無線LAN環境の整備 ◇DX	文化スポーツ課

基本目標		第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎:重点事業、○:推進事業、◇:継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所管部署名
政策分野			
施策			
A3 支え合い健やかに過ごせるまち			
A3-1 保健		3-5-41 保健総合情報システムの運用 ◇	健康政策課
A3-1-1 健康づくりの推進		1-5- 9 食育応援団マップによる食育情報の提供 ◇	地域保健課
		2-2-20 ふじ健康ポイント事業 ◇DX	健康政策課
		2-2-16 ICTを活用した特定保健指導 ○	国保年金課
A3-1-2 疾病予防の推進		3-5-39 公害病補償管理システムの運用 ◇	保健医療課
		3-5-40 特定疾患給付システムの運用 ◇	保健医療課
		3-5-42 国保連携システムの運用 (国民健康保険) ◇	国保年金課
		3-5-44 健診・医療・介護等のデータを活用した関連計画の推進 ◇	国保年金課
A3-2 医療		3-5-45 国保保険者標準事務処理システム連携事業 ◇	国保年金課
A3-2-1 地域完結型医療の推進		3-5-75 病院公営企業会計システムの運用 ◇	病院経営課
		3-5-76 勤怠管理システム推進事業 ◇	病院総務課
A3-2-2 医療人材の育成・確保		3-5-77 ICTを活用した中央病院診療情報システムの管理運用 ◇	医事課
A3-3 包括的支援		1-1- 3 介護ワストップサービスの提供 ◎DX	介護保険課
		3-5-32 国保連携システムの運用 (介護保険) ◇	介護保険課
A3-3-1 高齢者支援の推進		3-5-33 介護保険指定事業者等管理システムの運用 ◇	介護保険課 高齢者支援課
		3-5-43 静岡県後期高齢者医療広域連合電算処理システムの運用 ◇	国保年金課
		2-2-15 認知症高齢者保護情報共有システムの運用 ○DX	高齢者支援課
		2-2-17 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施 ○	国保年金課
A3-3-2 障害者福祉の推進		2-5- 4 認知症徘徊高齢者探索システムの運用 ◇	高齢者支援課
		2-5- 5 地域包括支援センター支援システムの運用 ◇	高齢者支援課
		1-5- 8 バリアフリーマップの運用 ◇	障害福祉課
A3-3-3 生活困窮者等に対する支援の充実		3-5-35 国保連携システムの運用 (障害者総合支援) ◇	障害福祉課
		3-5-34 生活保護システムの運用 ◇	生活支援課
A3-4 地域福祉			
A3-4-1 地域で支え合い助け合う体制の強化		3-5-31 敬老事業システムの運用 ◇	福祉総務課
A3-4-2 地域交流の推進			
A3-4-3 ユニバーサル就労の推進			
A4 豊かな環境を保ち継承するまち			
A4-1 地球環境			
A4-1-1 気候変動対策の推進		3-5-47 環境基本計画システムの運用 ◇	環境総務課
A4-1-2 環境教育・環境活動の推進			
A4-2 自然・生活環境			
A4-2-1 自然環境の保全・再生		1-5-10 富士市自然環境マップの活用 ◇	環境保全課
		3-1- 4 森林地におけるドローンを用いた測量技術の運用 ◎DX	環境総務課
		3-5-48 畜犬管理システムの運用 ◇	環境総務課
A4-2-2 良好な生活環境の確保		3-5-49 森林墓園管理システムの運用 ◇	環境総務課
		3-5-50 面的評価支援システムの活用 ◇	環境保全課
A4-3 循環型社会		3-5-51 大気汚染監視システムの活用 ◇	環境保全課
A4-3-1 廃棄物の3Rの推進		1-4- 9 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の運用 ◇DX	廃棄物対策課
		3-5-63 水道公営企業会計システムの運用 ◇	上下水道経営課
		3-5-68 管路情報管理システムの運用 ◇	水道工務課
A4-3-2 廃棄物適正処理の推進		3-5-69 水道施設監視システムの運用 ◇	水道維持課
		3-5-64 口座伝送システムの運用 (上下水道) ◇	上下水道営業課 上下水道経営課
		3-5-67 OORシステムの運用 (上下水道) ◇	上下水道営業課
A4-4 水利用		1-4- 8 ふじタウンマップによる下水道台帳の公開 ○	上下水道営業課
A4-4-1 安全で安心できる水道水の持続的な供給		3-5-61 下水道公営企業会計システムの運用 ◇	上下水道経営課
		3-5-62 下水道固定資産管理システムの運用 ◇	上下水道経営課
		3-5-65 下水道受益者負担金システムの運用 ◇	上下水道営業課
		3-5-66 下水道総合管理システムの運用 ◇	上下水道営業課
A4-4-2 生活排水対策の推進		3-5-70 終末処理場遠方監視システムの運用 ◇	下水道施設維持課
		3-5-71 終末処理場等設備台帳システムの運用 ◇	下水道施設維持課

基本目標		第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎:重点事業、○:推進事業、◇:継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所管部署名
A5 活力を創り高めるまち	政策分野		
	施策		
	A5-1 ものづくり産業	2-2- 8 新富士駅コワーキングスペース・シェアオフィス整備 ◎DX	産業政策課
	A5-1-1 新産業・成長産業への参入支援	2-2- 9 産業支援センターの有効活用 ◎	産業政策課
	A5-1-2 既存産業の活性化支援		
	A5-1-3 企業立地の促進		
	A5-2 商業・流通・サービス産業		
	A5-2-1 まちなかのにぎわい創出支援	2-5- 6 TMO・商工団体・中小事業者等との情報交流の支援 ◇	商業労政課
	A5-2-2 商業振興によるまちの活性化	2-2-21 JPQR普及事業 ◇DX 2-5- 8 産業交流展示場の有効活用 ◇	商業労政課 商業労政課
	A5-2-3 港湾の利活用推進		
	A5-3 農林水産業		
	A5-3-1 地場産品の生産支援と付加価値の向上	3-5-55 農用地管理システムの運用 ◇ 3-5-56 山林貸付地管理システムの運用 ◇ 3-5-83 農地台帳管理システム及び農地地図情報システムの運用 ◇ 3-5-54 確認野帳システムの運用 ◇	農政課 林政課 農業委員会事務局 農政課
	A5-3-2 生産基盤の保全・拡充		
	A5-3-3 担い手の確保・育成	3-5-52 農地中間管理事業地図作成システムの運用 ◇ 3-5-53 農地中間管理事業管理システムの運用 ◇	農政課 農政課
	A5-4 中小企業等振興	2-2- 3 テレワーク推進アドバイザー支援 ◎DX	産業政策課
	A5-4-1 経営基盤の強化及び起業・創業支援	2-2- 6 IT導入支援事業者等立地促進事業補助金 ◎DX 2-2- 7 ITベンダー・市内中小企業等ビジネスマッチングフェアの開催 ◎DX	産業政策課 産業政策課
	A5-4-2 雇用及び就労への支援	1-5-11 技能者の育成に関する情報の発信 ◇ 2-5- 7 労働・雇用情報の積極的な発信及びICTを活用した相談業務 ◇	商業労政課 商業労政課
	A5-4-3 労働環境の充実	2-2- 4 中小企業向けテレワーク導入促進 ◎DX 2-2- 5 テレワーク導入促進セミナー開催 ◎DX	産業政策課 産業政策課

基本目標		第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎:重点事業、○:推進事業、◇:継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所管部署名
政策分野			
施策			
A6	魅力を活かし人と人を繋ぐまち		
A6-1	観光	2-5- 9 観光プロモーションの推進 ◇	交流観光課
	A6-1-1 富士山活用の推進		
	A6-1-2 観光資源の活用	1-2- 1 ふるさと納税自販機の導入 ◎DX	産業政策課
	A6-1-3 観光インフラの整備		
A6-2	シティプロモーション		
	A6-2-1 まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成	1-4- 4 動画等コンテンツの充実 ○ 2-2- 2 シティプロモーションの推進 ◎DX	シティプロモーション課 シティプロモーション課
	A6-2-2 移住定住の促進	2-2- 8 新富士駅 coworkingスペース・シェアオフィス整備 ◎DX 【再掲】	産業政策課
A6-3	交流		
	A6-3-1 スポーツ交流の推進		
	A6-3-2 文化芸術を通じた交流の創出		
	A6-3-3 国際交流の促進		
A7	快適な暮らしを続けられるまち		
A7-1	市街地形成	2-3- 5 建設工事における情報共有システムの活用 ODX 3-5-73 土木積算システムの運用 ◇ 1-5-12 都市計画情報マップによる都市計画に関する情報の提供 ◇ 2-5-10 土地利用情報の提供 ◇ 2-5-11 土地区画整理事業完了地区の座標値発行業務 ◇ 3-1- 5 埋立地におけるドローンを用いた測量・解析技術の運用 ◎DX	建設総務課 道路整備課 都市計画課 都市計画課 市街地整備課 建築土地対策課
	A7-1-1 土地利用の適正化		
	A7-1-2 魅力あふれるまちなかの形成		
	A7-1-3 都市のスポンジ化の抑制		
A7-2	交通・道路	1-5-14 認定路線マップによる認定路線情報の提供 ◇ 1-5-15 ふじタウンマップによる街区基準点情報の提供 ◇ 3-5-72 道路河川占用管理システムの運用 ◇ 2-2-18 交通系ICカードの導入検討 ○ 2-3- 6 新たなモビリティサービス (MaaS・自動運転など)の導入検討 ODX 2-3- 7 バスロケーションシステム情報の利便性の向上 ODX	建設総務課 建設総務課 建設総務課 都市計画課 都市計画課 都市計画課
	A7-2-1 公共交通の充実		
	A7-2-2 快適な道路ネットワークの構築		
	A7-2-3 道路メンテナンスの推進		
A7-3	景観・公園・住宅	3-5-58 公園台帳管理システムの運用 ◇ 1-5-13 屋外広告物規制地域情報の提供 ◇ 3-5-57 建築確認申請支援システムの運用 ◇ 3-5-59 公営住宅管理システムの運用 ◇ 3-5-60 富士市公共建築物保全システムの運用 (市営住宅) ◇	みどりの課 建築土地対策課 建築土地対策課 住宅政策課 住宅政策課
	A7-3-1 美しい景観の保全・創出		
	A7-3-2 花と緑の環境の創出		
	A7-3-3 安心して快適な住宅の確保		

「総合計画を推進するための取組」との関係

節		第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎:重点事業、○:推進事業、◇:継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所管部署名
B1	質が高く柔軟な行政経営		
	B1-1 多様な主体との協働	1-5-19 会議録検索システムの運用 ◇ 1-5-20 本会議生中継・録画配信の運用 ◇ 3-2-3 タブレット端末・ペーパーレス会議システムを活用した議会運営 ◎DX 3-5-82 選挙管理システムの運用 ◇	議会事務局 議会事務局 議会事務局 選挙管理委員会事務局
	B1-1-1 多様化する市民ニーズに対応するため、NPO法人をはじめとする市民活動団体や事業者、教育機関など様々な主体との協働を推進します。		
	B1-1-2 市民、市民活動団体、地域団体等が行う新たな取組（ソーシャルビジネスやシェアリングエコノミーなど）を地域課題の解決に積極的に活用します。		
	B1-1-3 市民活動センター等の中間支援組織と連携し、市民活動等をサポートするとともに、公益活動の担い手となる人材を確保します。		
	B1-1-4 様々な公共データのオープンデータ化を更に進め、各主体との協働による市民生活の向上や諸課題の解決に繋がります。	2-3-1 オープンデータの提供・活用 ◎DX 2-3-4 ビッグデータの提供・活用 ○DX	デジタル推進課 デジタル推進課
	B1-1-5 外郭団体の経営の健全性や事業の有効性などを検証し、経営健全化の取組を促進するとともに、有意義な活用を進めていきます。		
	B1-1-6 ジェンダー平等の理念を踏まえ、固定観念に捉われず、個性が尊重され、多様な人材があらゆる場において活躍できる機会の確保を図ります。		
	B1-2 民間活力の導入		
	B1-2-1 官民連携を進め、民間の持つノウハウやアイデアを活用することで、より効率的かつ効果的に実施できるサービスは民間に委託し、各種行政サービスの実施手法を最適化します。		
	B1-2-2 民間に移行することで一定のサービス水準が確保され、より効率的なサービスの提供が期待できる事業については、積極的に民営化を推進します。		
	B1-2-3 公共サービスの向上や事業コストの削減を図ることができる事業について、PFIなどの手法による民間の資金、経営能力、技術的能力の活用を積極的に推進します。	3-4-2 共同電算化の推進 ◎DX 3-4-3 共同電算システムの運用 ○ 3-5-5 庁内ヘルプデスクの運用 ◇	デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課
	B1-3 広域行政の推進		
	B1-3-1 近隣市町と連携し、共通する広域的な行政課題の解決に向けて、都市間連携の強化を図ります。	1-2-3 証明手数料のPayPayでの支払 ○DX 1-2-4 旧公園・旧台帳のデジタル化 ○ 1-2-6 キャッシュレス決済の運用 ○DX	収納課 収納課 市民課
	B1-3-2 情報処理、職員研修など広域的に事務処理を行うことで効果が見込まれるものについては、事務の共同化に取り組みます。	1-2-7 混雑確認システムの運用 ◇DX	行政経営課 シティプロモーション課 デジタル推進課 市民課 こども未来課
	B1-4 窓口サービスの充実		
	B1-4-1 質の高いサービスを提供するため、ワンストップ総合窓口システムの効果を検証し、利便性を高めます。	1-2-8 おくやみ窓口の運用 ◇DX 1-2-9 発券機システムの運用 ◇DX	市民課 市民課
	B1-4-2 個人番号制度に係る国の動向を注視しマイナンバーカードの普及に努めるとともに、マイナンバーカード利用による各種証明書のコンビニ交付の割合を高め、交付事務全体の効率化を進めます。	3-5-25 改製原住民票発行システムの運用 ◇ 3-5-27 戸籍総合システムの運用 ◇ 3-5-29 旅券システムの運用 ◇ 1-5-3 ワンストップ総合窓口システムの運用 ◇ 1-3-1 マイナンバーカードを活用したサービスの拡充 ◎DX	市民課 市民課 市民課 市民課 デジタル推進課
	B1-5 情報発信の推進と的確な市民ニーズの把握		
	B1-5-1 多様化する広報媒体を活用し、必要とする人に必要な情報が届くよう積極的かつ効果的な情報発信を行います。	1-3-2 マイナンバーカードの健康保険証対応（国民健康保険）◎DX 1-3-3 マイナンバーカードの健康保険証対応（後期高齢者医療）◎DX 1-5-5 コンビニ交付による証明書交付サービスの提供 ◇ 3-5-30 マイナンバーカード交付関連システムの運用 ◇	国保年金課 国保年金課 市民課 収納課 市民課
B1-5-2 幅広い市政参画の機会を設け、きめ細かな広聴活動の実施により市政に対する意見や要望を広く聴取し、施策に反映させます。	1-4-6 ふじタウンマップの運用 ○ 1-4-1 最適な情報提供手段の見直し ◎ 1-4-3 SNSの運用・充実 ○DX	デジタル推進課 シティプロモーション課 シティプロモーション課	
B1-6 情報公開と個人情報保護の遵守			
B1-6-1 厳正な公文書管理及び情報公開制度の的確な運用を進め、市民への説明責任を果たすとともに行政運営の透明性を確保します。	1-4-5 コンテンツマネジメントシステムの評価・改善 ○ 2-5-2 市ウェブサイトのアクセシビリティの確保 ◇	シティプロモーション課 シティプロモーション課	
B1-6-2 「富士市個人情報保護条例」に基づき、個人情報の適正な取扱いを図ります。	2-3-3 設計書情報提供システムの運用 ○DX 3-5-2 文書管理システムの運用 ◇	総務課 総務課	

節		第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎:重点事業、○:推進事業、◇:継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所管部署名
主な取組 内容			
B1-7	業務執行体制の最適化	3-5-3 人事給与システムの運用 ◇	人事課
B1-7-1	将来を見据えた未来志向の組織体制を構築し、行政課題に対応した施策を着実に推進します。	1-1-6 電子申請システムの運用 ○DX 1-1-7 市民通報システムの運用 ○DX 1-1-8 公共施設案内・予約システムの活用 ◇DX	デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課
B1-7-2	定員適正化計画に基づく定員管理を行い、職員定数の適正化を図ります。	1-2-2 キャッシュレス決済の拡大 ○DX 1-4-7 道路情報電子化事業 ○	デジタル推進課 建築土地対策課
B1-7-3	業務の一元化及び集約化を進め、業務執行の効率化を図ります。	1-5-4 斎場予約システムの運用 ◇ 2-2-12 公衆無線LAN環境の検討 ○DX 2-2-13 eスポーツの研究 ○DX	市民課 デジタル推進課 デジタル推進課
B1-7-4	業務プロセスの最適化やICTの活用などを進め、業務執行における生産性の向上を図り、持続的かつ効果的な行政サービスを提供します。	2-3-2 第5世代移動通信システム5Gの活用 ◎DX 2-4-1 デジタル格差解消のための産学官民連携事業 ◎DX	デジタル推進課 デジタル推進課
B1-7-5	不断の業務改善を積極的に進めることにより、業務の効率化や市民サービスの向上を図ります。	2-5-3 電子入札システムの活用 ◇ 3-1-1 AI、IoTの行政サービスへの活用 ◎DX 3-1-2 デジタルマーケティング推進事業 ◎DX 3-1-6 RPAの利活用 ◇DX	契約検査課 デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課
B1-7-6	内部統制の強化を図ることにより、適正な業務執行を確保し、市民から信頼される行政サービスを提供します。	3-2-1 テレワークの運用 ◎DX 3-2-2 ICTを活用した新しいワークスタイルの研究 ◎DX 3-2-4 ウェブ会議システムの活用 ◇DX	人事課 行政経営課 デジタル推進課 デジタル推進課
B1-8	人材の確保・育成	3-4-1 自治体情報システム標準化・共通化の推進 ◎DX 3-5-1 例規総合管理システムの運用 ◇ 3-5-6 ICT-BCPの運用 ◇ 3-5-7 障害時における業務システム利用可能環境の構築 ◇ 3-5-11 庁内ネットワークの運用 ◇ 3-5-12 情報提供ネットワークシステムの運用 ◇ 3-5-13 全庁型GISの運用 ◇ 3-5-22 軽自動車関係税申告データエントリーシステムの運用 ◇ 3-5-23 固定資産税システムの運用 ◇ 3-5-24 家賃評価計算システムの運用 ◇ 3-5-26 法務省連携システムの運用 ◇ 3-5-28 戸籍副本データ管理システムの運用 ◇ 3-5-78 口座伝送システムの運用 (会計室) ◇ 3-5-79 指定金融機関日計・移替システム及びOCRシステムの運用 ◇	デジタル推進課 総務課 デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課 市民税課 資産税課 資産税課 市民課 市民課 会計室 会計室
B1-8-1	様々な形での採用試験により、熱意を持ち行動力のある有為な人材を確保します。	3-5-20 預金貯金等照会・回答業務のデジタル化 ◇	収納課
B1-8-2	任期付職員の採用制度の活用などにより、高度の専門的な知識経験や優れた識見を有する民間人材を登用します。	1-1-2 口座振替登録のオンライン申請 ◎DX 3-3-1 情報化推進体制の強化 ◎DX 3-5-4 入退室管理システムの運用 ◇ 3-5-8 情報セキュリティ対策の運用 ◇ 3-5-9 情報セキュリティレベルの向上 ◇ 3-5-10 セキュリティプリントの運用 ◇	収納課 デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課 デジタル推進課
B1-8-3	人事評価制度を活用した人材育成を図るとともに、職員研修により時代に応じた専門知識や課題解決能力を有する人材を育成します。	3-5-16 地方債システムの運用 ◇	財政課
B1-8-4	長時間勤務の縮減や職員の健康の管理、多様なワークスタイルの採用などにより、働き方改革を推進し、職員一人ひとりが活躍できるための職場環境や体制を整備します。	3-5-14 公会計システムの運用 ◇ 3-5-15 財務会計システムの運用 ◇	財政課 財政課
B1-8-5	弁護士経験を有する法務監を活用するとともに、事業の執行の際には絶えず法的リスクを把握しながら取り組むなど、職員の法務能力の向上を図ります。	1-1-1 市税のクレジットカード納付 ◎DX 1-5-2 電子申告システムの運用 ◇ 3-5-18 電話催告システムの運用 ◇	収納課 市民税課 収納課 収納課
B2	持続可能な財政運営	3-5-19 徴収支援システムの運用 ◇ 3-5-21 インターネット公売の活用 ◇	収納課 収納課
B2-1	持続可能な財政基盤の形成	3-5-17 富士市公共建築物保全管理システムの運用 ◇ 3-5-74 當積核算システムの運用 ◇	資産経営課 施設保全課
B2-1-1	将来負担すべき債務などの計画的な管理や事業の創意工夫、取捨選択などを適切に行います。		
B2-1-2	長期的な視点による効率的かつ効果的な予算編成及び予算執行に努め、健全性を維持していきます。		
B2-1-3	インフラ等も含めたアセットマネジメントを推進し、保有財産の最適化を図ります。		
B2-1-4	収入の一層の増加を図り、将来にわたり持続可能な財政基盤の形成を図ります。		
B2-1-5	全国統一規格による納税用QRコードの導入等、市税の納付方法の拡大を検討し、納付環境の充実を図ります。		
B2-1-6	納付方法等、市税情報を説明する多言語QRコードの活用を検討し、外国人納税者の納税理解の促進を図ります。		
B2-1-7	厳正かつ適正な滞納整理により納税の公平性を確保し、収納率の向上を図ります。		
B2-2	公共施設マネジメントの推進		
B2-2-1	公共施設において提供すべき公共サービスの質・量を見極め、更新時には適切な施設規模への見直しや施設の統廃合・複合化を進めることで保有建築物の総量を削減します。		
B2-2-2	公共施設の長寿命化、予防保全の導入等による更新・修繕費用の軽減、平準化を図るとともに、PFI事業や民間委託など民間活力を積極的に導入し、更新費用及び維持管理費用を縮減します。		
B2-2-3	公共施設の複合化、多機能化等を図り、建築物を最大限有効活用するとともに、公共施設の統廃合により生じた余剰施設の民間への貸付け、売却等の効率的な運用により収益の確保に努めます。		
B2-2-4	土木系インフラについて、施設の劣化状況や利用状況などから事業の優先度を判断し、計画的な維持管理、予防保全による長寿命化を図ります。		

5. 第4次富士市行政経営プラン取組事項及び本計画との関係

重点項目	主要事項	取組事項	第四次富士市情報化計画情報化事業名 (◎：重点事業、○：推進事業、◇：継続事業、 デジタル変革に資する事業は末尾にDXと表記)	所属部署名	
1 経営資源の確保	1-1 業務執行体制の最適化	1-1-1 職員配置適正化計画に基づく定員管理			
		1-1-2 業務の一元化・集約化			
		1-1-3 デジタル技術による生産性の向上	3-1-1 AI・IoTの行政サービスへの活用 ◎DX	デジタル推進課	
		1-1-4 基幹業務システムの標準化・共通化等の推進	3-1-6 RPAの利活用 ◇DX	デジタル推進課	
		1-1-5 デジタルマーケティングの推進	3-2-2 ICTを活用した新しいワークスタイルの研究 ◎DX	デジタル推進課	
		1-1-6 行政評価を活用した事務事業の見直し	3-4-1 自治体情報システム標準化・共通化の推進 ◎DX	デジタル推進課	
	1-2 民間活力導入の推進	1-2-7 業務委託の推進	3-4-2 共同電算化の推進 ◎DX	デジタル推進課	
		1-2-8 公共サービスの民営化	3-4-3 共同電算システムの運用 ○	デジタル推進課	
		1-2-9 その他民間活力の導入	3-1-2 デジタルマーケティング推進事業 ◎DX	デジタル推進課	
	1-3 公共施設マネジメントの推進	1-3-10 公共建築物のライフサイクルコストの縮減			
		1-3-11 公共建築物の効果的な利活用	3-5-17 富士市公共建築物保全管理システムの運用 ◇	資産経営課	
		1-3-12 土木系インフラの維持管理手法等の見直し			
	1-4 新たな収入源の確保	1-4-13 新たな使用料、手数料等の徴収			
		1-4-14 ふるさと納税制度等による寄附額の拡大	1-2-1 ふるさと納税自販機の導入 ◎DX	産業政策課	
		1-4-15 広告掲載事業の拡充	1-1-1 市税のクレジットカード納付 ◎DX	収納課	
		1-4-16 歳計・歳計外現金及び基金の活用	1-1-2 口座振替登録のオンライン申請 ◎DX	収納課	
			1-5-2 電子申告システムの運用 ◇	市民税課 収納課	
			3-5-18 電話催告システムの運用 ◇	収納課	
	1-5 安定した健全財政の維持	1-5-17 市税等の収納率の維持向上	3-5-19 徴収支援システムの運用 ◇	収納課	
		1-5-18 未利用財産の処分・利活用	3-5-20 預金貯金等照会・回答業務のデジタル化 ◇	収納課	
		1-5-19 公会計制度改革の推進	3-5-21 インターネット公売の活用 ◇	収納課	
		1-5-20 公営企業の経営健全化の推進（水道事業）	3-5-14 公会計システムの運用 ◇	財政課	
		1-5-21 公営企業の経営健全化の推進（公共下水道事業）	3-5-63 水道公営企業会計システムの運用 ◇	上下水道経営課	
		1-5-22 公営企業の経営健全化の推進（病院事業）	3-5-61 下水道公営企業会計システムの運用 ◇	上下水道経営課	
			3-5-75 病院公営企業会計システムの運用 ◇	病院経営課	
2 行政サービスの向上	2-1 市民の利便性の向上	2-1-23 キャッシュレスの推進			
		2-1-24 業務改善運動の推進	1-2-2 キャッシュレス決済の拡大 ODX	デジタル推進課	
		2-1-25 窓口業務の充実			
	2-2 デジタル技術の有効活用によるサービス向上	2-2-26 マイナンバーカードの活用	1-3-1 マイナンバーカードを活用したサービスの拡充 ◎DX	デジタル推進課	
		2-2-27 オープンデータ、ビッグデータの提供、活用	1-5-5 コンビニ交付による証明書交付サービスの提供 ◇	市民課 収納課	
		2-2-28 行政手続のオンライン化	2-3-1 オープンデータの提供・活用 ◎DX	デジタル推進課	
		2-2-29 スマートフォンアプリの活用	2-3-4 ビッグデータの提供・活用 ODX	デジタル推進課	
		2-2-30 Web・SNS等を活用した情報発信	1-1-6 電子申請システムの運用 ODX	デジタル推進課	
			1-1-8 公共施設案内・予約システムの活用 ◇DX	デジタル推進課	
	2-3 大都市制度、広域連携による都市機能の強化	2-3-31 中核市制度への対応	1-1-7 市民通報システムの運用 ODX	デジタル推進課	
		2-3-32 周辺自治体との連携強化	1-1-4 子育て支援アプリ運用実施 ◎DX	こども未来課	
			1-4-9 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の運用◇DX	廃棄物対策課	
	3 組織の活性化・適正化	3-1 人事・給与制度の適正化	3-1-33 ワークライフバランスの推進	1-4-3 SNSの運用・充実 ODX	シティプロモーション課
			3-1-34 テレワークの推進	3-2-1 テレワークの運用 ◎DX	人事課 行政経営課 デジタル推進課
			3-1-35 人事評価制度の適切な運用	3-2-4 ウェブ会議システムの活用 ◇DX	デジタル推進課
3-1-36 複線型人事制度の導入					
3-1-37 給与制度等の適正化					
3-1-38 女性職員の活躍推進					
3-2 多様な主体の参画		3-2-40 市民協働事業の推進			
		3-2-41 デジタル人材の活用と育成	3-3-1 情報化推進体制の強化 ◎DX	デジタル推進課	
		3-2-42 附属機関等の適切な運営			
3-3 業務の信頼性、継続性の確保		3-3-43 トップマネジメントの推進	3-5-4 入退室管理システムの運用 ◇	デジタル推進課	
		3-3-44 内部統制の強化	3-5-8 情報セキュリティ対策の運用 ◇	デジタル推進課	
		3-3-45 情報セキュリティの強化	3-5-9 情報セキュリティレベルの向上 ◇	デジタル推進課	
	3-4 外郭団体の見直し	3-5-10 セキュリティプリントの運用 ◇	デジタル推進課		
	3-4-46 外郭団体のあり方の整理				

第四次富士市情報化計画

発行日 令和4年3月

編集・発行 富士市総務部情報政策課（4月からデジタル推進課）

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地

電話：0545-55-2716 ファクス：0545-55-0510

富士市行政資料登録番号 R3-63